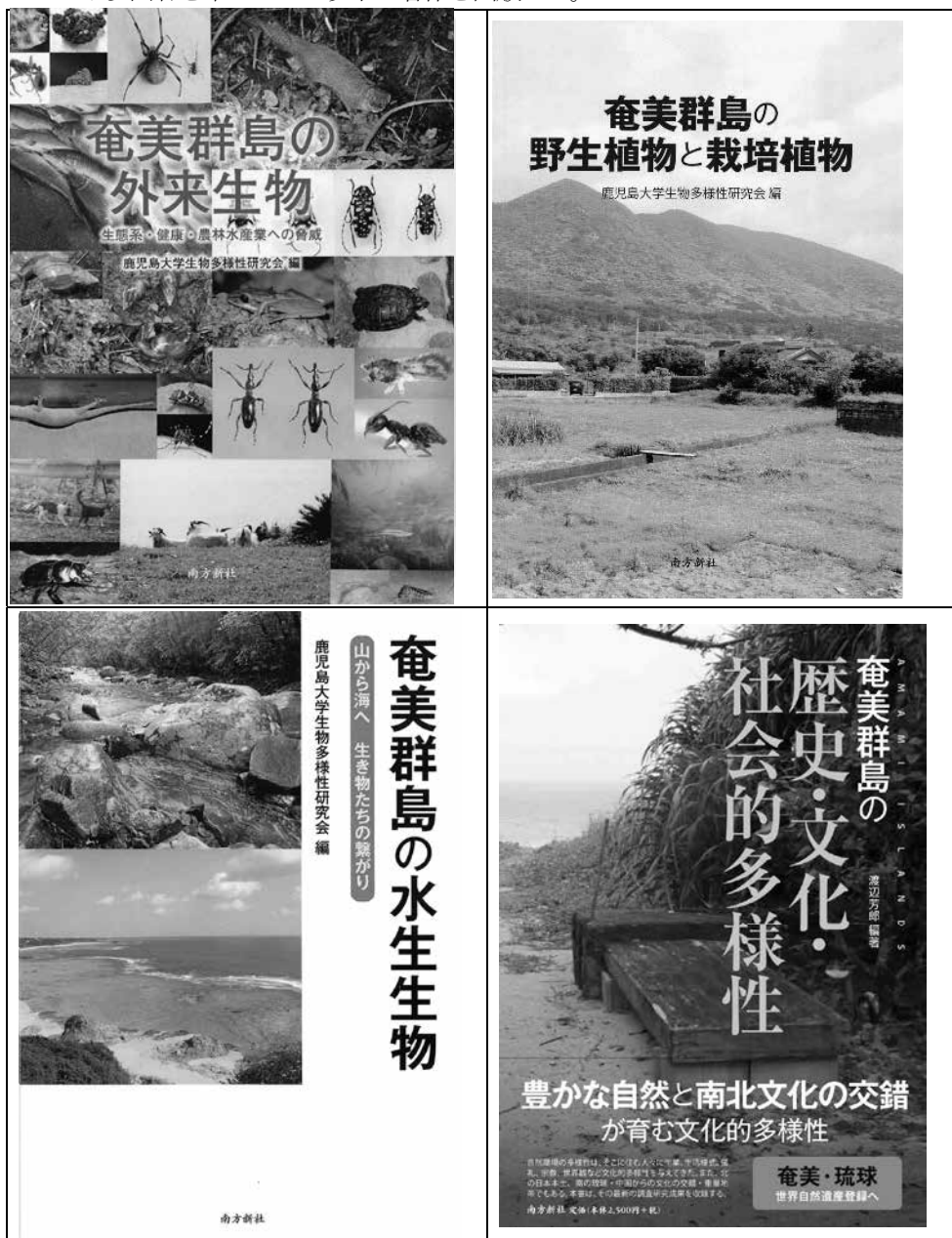


## 5.出版物・学会発表

### 5-1.一般図書の発行

生物多様性の重要性を一般の方に認識して頂くために、本プロジェクト予算を使い、プロジェクト参加者を中心として以下の著作を出版した。



## 各号の目次

奄美群島の外来生物 鹿児島大学生物多様性研究会編 2017 年 3 月発行 南方新社 245pp. ISBN 978-4-86124-351-5		
著者	表題	頁
	第 1 部 昆虫・小動物・微生物	
中村浩昭	第 1 章 奄美大島におけるミカンコミバエ種群の再発生と根絶防除の経過	10
津田勝男	第 2 章 薩南諸島のゴマダラカミキリ類と農業被害	18
栗和田隆	第 3 章 外来生物としてのサツマイモの特殊害虫アリモドキゾウムシとイモゾウムシ—生態と防除に関する最近の研究—	36
大塚靖	第 4 章 薩南諸島の外来の衛生動物	72
金井賢一	第 5 章 薩南諸島の外来種としての昆虫たち	85
山根正気・福元しげ子	第 6 章 薩南諸島における放浪種アリ類	108
富山清升	第 7 章 外来種動物としてのアフリカマイマイ	132
坂巻祥孝・尾川宜広	第 8 章 奄美群島へのカンキツグリーニング病の侵入と喜界島での根絶事例	165
	第 2 部 脊椎動物	
米沢俊彦・興克樹・久米元	第 1 章 薩南諸島の陸水の外来生物:魚類とカメ類	184
太田英利	第 2 章 薩南諸島の外来種問題:爬虫類・両生類の視点から	190
中西良孝	第 3 章 薩南諸島のノヤギ問題と対策について	206
藤田志歩	第 4 章 奄美大島と徳之島におけるノネコ問題の現状と取り組み	215
鈴木真理子・豆野皓太・久保雄広	COLUMN 島の人たちにとってのネコ問題	226
松田維・橋本琢磨	第 5 章 奄美大島の外来種マングース対策-世界最大規模の根絶へ向けて-	230

奄美群島の野生植物と栽培植物 鹿児島大学生物多様性研究会編 2018 年 3 月発行 南方新社 257pp. ISBN978-4-86124-374-5		
著者	表題	頁
	第 1 部 自然界に生きる植物	
尾方隆幸・井村隆介	第 1 章 琉球弧の地形—現在の地形形成環境と地形形成プロセス—	10
鈴木英治・宮本句子	第 2 章 南西諸島における島嶼間の植物相比較	26
相場慎一郎	第 3 章 奄美大島と徳之島の山地照葉樹林	35
鈴木英治	第 4 章 奄美大島の海岸の植生	60
宮本句子・丸野勝敏	第 5 章 九州島南部と薩南諸島の外来植物事情	70
川西基博	第 6 章 奄美大島の河川に生育する外来種	78
寺田仁志	第 7 章 薩南諸島にある植物関連の天然記念物	92

著者	表題	頁
田畑満大	第8章 奄美の植物研究、80年	112
可知直毅	第9章 世界自然遺産地域の価値とその保全—小笠原諸島から学ぶ—	129
	第2部 人に利用される植物	
高宮広土	第10章 奄美諸島先史時代の植物食利用	140
竹井恵美子	第11章 冬作と夏作—奄美群島の雑穀の系譜—	148
盛口満	第12章 奄美群島の里山と植物利用	156
落合雪野	第13章 植物繊維を織る—奄美群島の染織文化	169
寺内方克	第14章 サトウキビの伝来と種の融合	180
山本宗立	第15章 薬としての唐辛子	198
遠城道雄	第16章 薩南諸島のイモ類—ヤムイモとタロイモ—	208
山本雅史	第17章 薩南諸島のカンキツ	216
富永茂人	第18章 人による植物の利用—熱帯果樹—	231
平瑞樹	第19章 「生物多様性保全」を地方再生戦略に活かす	248

**奄美群島の水生生物 鹿児島大学生物多様性研究会編 2019年3月発行 南方新社**

245pp ISBN978-4-86124-401-8

著者	表題	頁
本村浩之・鈴木廣志	第1部 南西諸島の生物地理	8
	第2部 陸水に暮らす生き物たち	
鈴木廣志	第1章 陸水域にみられる生息場	24
久米元・米沢俊彦・鈴木廣志・寺田竜太	第2章 陸水域に暮らす生き物たち	31
	第3部 海辺で暮らす生き物たち	
山本智子・佐藤正典・鈴木廣志	第1章 海辺にみられる生息場	58
鈴木廣志	第2章 潮上帯から陸域で暮らす生き物たち	61
田中正敦・佐藤正典	第3章 干潟・マングロープで暮らす生き物たち	75
川瀬誉博	コラム1 落葉した北限のマングロープ林	132
河合溪・鈴木廣志	第4章 磯(岩礁潮間帯)・礁原に暮らす生き物たちと環境	134
	第4部 海中で暮らす生き物たち	
藤井琢磨・寺田竜太	第1章 海中にみられる生息場	146
藤井琢磨・上野大輔・鈴木廣志	第2章 サンゴ礁で暮らす生き物たち	154
上野大輔	コラム2 奄美の海でパラモンを探せ	176

著者	表題	頁
寺田竜太・山本智子・鈴木 廣志	第3章 藻場で暮らす生き物たち	184
本村浩之	第4章 水塊で暮らす生き物たち	208
濱田季之	コラム3 海の宝探し—海綿からの毒や薬となる化学物質の探索	224
池永隆徳	コラム4 魚類の神経系の多様なかたち	229

奄美群島の歴史・文化・社会的多様性 渡辺芳郎編 2020年3月刊行予定（南方新社）	
渡辺芳郎	はじめに
第1部 歴史編	
高宮広土	奄美・沖縄諸島の島々に旧石器時代にヒト（ホモ・サピエンス）がいた意義
橋本達也	須恵器流通からみた南島と古墳社会の関係
高津孝	曾繁著述考略 本草の部
渡辺芳郎	奄美大和村津名久焼の基礎的研究
第2部 文化編	
桑原季雄	奄美大島大和村と龍郷町における女性たちの活動と地域の資源
兼城糸絵	奄美大島の共同納骨堂に関する一考察—宇検村の事例を中心に—
熊華磊	浜における豊かな生活風景とその変化—奄美大島瀬戸内町の三集落を中心に—
鵜戸聡	島尾敏雄「出孤島記」における環境世界
第3部 社会編	
萩野誠	南西諸島におけるエコツーリズムと生物多様性—エコツーリズム分析の枠組み—
宋多情	奄美の世界自然遺産登録と観光利用 —エコツーリズムの側面から—
宮下正昭	世界自然遺産登録問題とメディア、住民意識
西村知	諏訪之瀬島における移住決定要因—多様性の受容を中心として—
松田忠大	船舶事故を原因とする損害賠償制度の現状と課題

## 5-2.論文・著書等

平成28年(2016年)から、令和1年に以下の論文を発表した。なお、5-1に示した本プロジェクト予算で発行した書籍は含まない。

論文数の集計		
年	査読無	査読有
2016	53	10
2017	90	65
2018	72	36
2019	70	23
印刷中	12	2
合計	297	136

### 平成28(2016)年

- Kuriwada T (2016) Social isolation increases male aggression toward females in the field cricket *Gryllus bimaculatus*. *Population Ecology*, 58:147–153
- Kuriwada T, Reddy GVP (2016) Volcanic ash decreases dehydration tolerance in the field cricket *Gryllus bimaculatus* (Orthoptera: Gryllidae). *Journal of Asia-Pacific Entomology*, 19:85–87
- Reddy GVP, Antwi FB, Shrestha G, Kuriwada T (2016) Evaluation of toxicity of biorational insecticides against larvae of the alfalfa weevil. *Toxicology Reports*, 3:473–480
- Kuriwada T (2016) Horn length is not correlated with calling efforts in the horn-headed cricket *Loxoblemmus doenitzi* (Orthoptera: Gryllidae). *Entomological Science*, 19:228–232
- 津田勝男, 坂巻祥孝, 三宅正隆 (2016) 喜界島における昆虫病原性糸状菌製剤によるゴマダラカミキリの生物的防除 南太平洋海域調査研究報告, 57:43–44
- 坂巻祥孝, 三宅正隆, クアシン N'G. ルシエン, 津田勝男 (2016) 徳之島および喜界島産ゴマダラカミキリ類における遺伝子汚染 南太平洋海域調査研究報告, 57:41–42
- Yoshida T, Koeda K, Motomura H (2016) First Japanese specimen-based records of Cypho zaps (Perciformes: Pseudochromidae) from Yonaguni-jima Island, the Yaeyama Islands Species Diversity, 21:171–175
- Hata H, Motomura H (2016) First record of the snake mackerel *Epinnula magistralis* (Perciformes: Gempylidae) from the Tokara Islands, Japan Fauna Ryukyuana, 30:11–15
- Hata H, Nishimura M, Motomura H (2016) First specimen-based record of *Epinephelus quoyanus* (Perciformes: Serranidae) from Okinawa Prefecture, Japan Biogeography, 18:47–52
- Muto N, Takeshima H, Kakioka R, Alama UB, Guzman AMT, Cruz RS, Gaje AC, Traifalgar RFM, Motomura H, Muto F, R.Babaran RB, Ishikawa S (2016) Rapid and cost-effective molecular identification of the three mackerel species of the genus *Rastrelliger* (Perciformes: Scombridae) using PCR-RFLP analysis *Marine Biodiversity*, doi: 10.1007/s12526-016-0537-7
- Motomura H, Barez P, Causse R (2016) Taxonomic status of *Scorpaena rawakensis* Quoy and Gaimard, 1824 (Teleostei: Scorpaenidae) *Cybio*, 40:326–328
- 田代郷国, 木村祐貴, 本村浩之 (2016) イソギンポ科ジュズダマギンポ *Blenniella interrupta* の種子島からの記録 *Nature of Kagoshima*, 42:305–309
- 畑 晴陵, 伊東正英, 原口百合子, 本村浩之 (2016) クサアジ科魚類ヒメクサアジの鹿児島県からの初記録および成長に伴う形態変化の記載 *Nature of Kagoshima*, 42:39–43
- 畑 晴陵, 鍋木統一, 本村浩之 (2016) クロサギ科魚類ホソイトヒキサギの日本沿岸からの 6 番目の記録 *Nature of Kagoshima*, 42:231–235
- 岩坪洗樹, 本村浩之 (2016) スズメダイ科魚類 *Chromis analis* タンボポスズメダイ(新称)と *C. xouthos* ヒマワリスズメダイの日本における記録と標準和名 *タクサ*, 41:40–45
- 畑 晴陵, 本村浩之 (2016) トカラ列島から得られたゴマサバの胃内容物からみつかったマルバラシマガツオ(シマガツオ科) *Nature of Kagoshima*, 42:203–206
- 畑 晴陵, 高山真由美, 本村浩之 (2016) トカラ列島から得られたハチビキ科魚類ロウソクチビキ *Emmelichthys struhsakeri* *Nature of Kagoshima*, 42:207–211
- 稲葉智樹, 畑 晴陵, 本村浩之 (2016) トカラ列島と奄美群島から得られた鹿児島県初記録のバケムツ(ホタルジャコ科) *Nature of Kagoshima*, 42:129–133
- 畑 晴陵, 鍋木統一, 本村浩之 (2016) ニシン科魚類オグロイワシ *Sardinella melanura* の大隅諸島からの初めての記録 *Nature of Kagoshima*, 42:27–32
- ジョン ビョル, 中江雅典, 小枝圭太, 本村浩之 (2016) フェダイ科タテフェダイ *Lutjanus vitta* の奄美大島からの記録 *Nature of Kagoshima*, 42:213–217
- 江口慶輔, 本村浩之 (2016) フェダイ科ヨゴレアオダイ *Paracaesio sordida* の種子島と奄美大島からの記録 *Nature of Kagoshima*, 42:219–223

22. 畑 晴陵, 土田洋之, 本村浩之 (2016) 宇治群島から得られたシキシマハナダイ *Callanthias japonicus* Nature of Kagoshima, 42:157-161
23. 小枝圭太, 岩坪洗樹, 本村浩之 (2016) 奄美群島喜界島から得られたヒマワリスズメダイ *Chromis analis* Nature of Kagoshima, 42:289-292
24. 畑 晴陵, 本村浩之 (2016) 奄美群島徳之島から得られたタカノハダイ *Cheilodactylus zonatus* Nature of Kagoshima, 42:279-287
25. 畑 晴陵, 本村浩之 (2016) 奄美大島から得られたアジ科魚類ホシカイワリ *Carangoides fulvoguttatus* Nature of Kagoshima, 42:183-186
26. 畑 晴陵, 中江雅典, 本村浩之 (2016) 奄美大島から得られたイトヨリダイ科魚類タマガシラ *Parasclopsis inermis* Nature of Kagoshima, 42:249-254
27. 畑 晴陵, 山田守彦, 本村浩之 (2016) 奄美大島から得られたイトヨリダイ科魚類ヤクシマキツネウオ *Pentapodus aureofasciatus* Nature of Kagoshima, 42:255-258
28. 小枝圭太, 前川隆則, 本村浩之 (2016) 奄美大島から得られたシモフリエフキ *Lethrinus lentjan* の北限記録 Nature of Kagoshima, 42:259-263
29. 小枝圭太, 本村浩之 (2016) 奄美大島から得られたヒフキアイゴ *Siganus (Lo) unimaculatus* の標本に基づく北限記録 Nature of Kagoshima, 42:315-320
30. 小枝圭太, 興 克樹, 本村浩之 (2016) 奄美大島から得られたマンボウ科の稀種ヤリマンボウ *Masturus lanceolatus* Nature of Kagoshima, 42:339-342
31. 小枝圭太, 本村浩之 (2016) 下甕島と奄美大島から得られたキツネブダイ *Hipposcarus longiceps* の分布北限記録および性的二型に関する知見 Nature of Kagoshima, 42:299-304
32. 吉田朋弘, 本村浩之 (2016) 喜界島から得られたカエルアンコウ科魚類ヒメヒラタカエルアンコウの日本から3例目の記録 Nature of Kagoshima, 42:45-48
33. 伊東正英, 小枝圭太, 本村浩之 (2016) 九州初記録のウミテング科魚類ヤリテング *Pegasus volitans* Nature of Kagoshima, 42:113-117
34. 吉田朋弘, 岩坪洗樹, 本村浩之 (2016) 九州初記録のハタ科魚類スノサラシ *Grammistes sexlineatus* Nature of Kagoshima, 42:135-138
35. 小枝圭太, 伊東正英, 本村浩之 (2016) 九州初記録のヨロイウオ *Centriscus scutatus* Nature of Kagoshima, 42:119-122
36. 福井美乃, 本村浩之 (2016) 甕島列島から得られた国内 2 例目となるイソギンポ科オボログタゲミカエルウオ Nature of Kagoshima, 42:311-314
37. 畑 晴陵, 伊東正英, 本村浩之 (2016) 鹿児島県から得られたオオメメダイ科魚類ミナメメダイ *Arionma brevipinnis* 南紀生物, 58:44-47
38. 畑 晴陵, 高山真由美, 本村浩之 (2016) 鹿児島県から得られたタチウオ科魚類ヒレナガユメタチ *Evoxymentopon poeyi* Nature of Kagoshima, 42:321-325
39. 畑 晴陵, 小枝圭太, 鍋本紘一, 高山真由美, 本村浩之 (2016) 鹿児島県から得られたハタ科魚類 3 種: サラサハタ, アカマダラハタ, およびオオスジハタ Nature of Kagoshima, 42:147-156
40. 畑 晴陵, 伊東正英, 本村浩之 (2016) 鹿児島県から得られたフグ科魚類クマサカフグ *Lagocephalus lagocephalus* Nature of Kagoshima, 42:333-338
41. 吉田朋弘, 本村浩之 (2016) 鹿児島県におけるマダラテンジクダイ *Apogonichthyoides umbratilis* の分布状況 Nature of Kagoshima, 42:163-167
42. 畑 晴陵, 岩坪洗樹, 原口百合子, 森 幸二, 本村浩之 (2016) 鹿児島県のキンメダイ科魚類 Nature of Kagoshima, 42:49-56
43. 上城拓也, 小枝圭太, 本村浩之 (2016) 鹿児島県初記録のニベ科魚類クログチ Nature of Kagoshima, 42:265-268
44. 畑 晴陵, 山田守彦, 前川隆則, 本村浩之 (2016) 鹿児島県大隅半島東岸と奄美大島から得られたイサギ科魚類エリアカコンショウダイ *Plectorhinchus unicolor* Nature of Kagoshima, 42:237-241
45. 畑 晴陵, 本村浩之 (2016) 鹿児島県内之浦湾から得られたイサギ科魚類セトダイ *Haplogerys analis* Nature of Kagoshima, 42:243-248
46. 岩坪洗樹, 加藤 紳, 本村浩之, 喜種翔平, 上城拓也, 岩坪政光 (2016) 鹿児島県南九州市頰娃町番所鼻自然公園地先の魚類リスト 2014-2015 Nature of Kagoshima, 42:353-360
47. 畑 晴陵, 本村浩之 (2016) 鹿児島県北部から得られたサバ科魚類グルクマ Nature of Kagoshima, 42:327-332
48. 松沼瑞樹, 福井美乃, 本村浩之 (編, 著) (2016) 鹿児島市の川魚図鑑, :1-86
49. 畑 晴陵, 本村浩之 (2016) 種子島から得られたナガサキフエダイ *Pristipomoides multidens* Nature of Kagoshima, 42:225-229
50. 畑 晴陵, 高山真由美, 本村浩之 (2016) 大隅諸島とトカラ列島から得られた薩南諸島初記録のアオバダイ Nature of Kagoshima, 42:269-273
51. 吉田朋弘, 本村浩之 (2016) 大隅諸島種子島から得られたハタ科魚類トゲメギス *Pseudogramma polycantha* Nature of Kagoshima, 42:143-146
52. 吉田朋弘, 本村浩之 (2016) 大隅諸島初記録のテンジクダイ科魚類クダリボウズギス Nature of Kagoshima, 42:173-177
53. 松沼瑞樹, 福井美乃, 山田守彦, 本村浩之 (2016) 大隅半島東岸と鹿児島湾から得られたコチ科セレベスゴチ *Thysanophrys celebica* Nature of Kagoshima, 42:123-128
54. 岩坪洗樹, 本村浩之, 本村浩之 (2016) 東シナ海と鹿児島県枕崎市沖から得られた日本初記録のアジ科魚類 *Decapterus smithvanizi* サクラアジ (新称) Nature of Kagoshima, 42:179-182
55. 岩坪洗樹, 加藤 紳, 本村浩之 (編, 著) (2016) 南九州頰娃の海水魚, :1-80
56. 吉田朋弘, 高山真由美, 本村浩之 (2016) 皮膚毒を有するハタ科魚類: アゴハタ *Pogonoperca punctata* の種子島からの記録 Nature of Kagoshima, 42:139-142
57. 福井美乃, 小枝圭太, 本村浩之 (2016) 標本に基づくヒノマルテンス (ベラ科) の奄美大島と加計呂麻島からの記録, および成長に伴う形態変化に関する知見 Nature of Kagoshima, 42:293-298
58. 藤原恭司, 本村浩之 (2016) 標本に基づく鹿児島県のヒラギ科魚類相 Nature of Kagoshima, 42:187-202
59. 吉田朋弘, 山田守彦, 前川隆則, 本村浩之 (2016) 標本に基づく鹿児島県初記録のイナズマヒカリイシモチ *Siphamia*

- argentea (スズキ目: テンジクダイ科) Nature of Kagoshima, 42:169-172
60. 小枝圭太, 本村浩之 (2016) 琉球列島から初めて採集されたダイダイヤッコ *Centropyge shepardi* Nature of Kagoshima, 42:275-278
  61. 江口慶輔, 本村浩之 (2016) 琉球列島におけるイトウダイ科魚類相 Nature of Kagoshima, 42:57-112
  62. 畑 晴陵, 山口 実, 岩坪洗樹, 本村浩之 (2016) 琉球列島初記録のアオメエソ科魚類 *バケアオメエソ* Nature of Kagoshima, 42:33-37
  63. 渡辺芳郎 (2016) シマの陶磁器ー近世トカラ列島における陶磁器流通を中心にー 中近世陶磁器の考古学, 2:13-32

## 平成 29 (2017) 年

1. Yamamoto M, Takakura A, Tanabe A, Teramoto S, Kita M (2017) Diversity of *Citrus depressa* Hayata (Shiikuwasha) revealed by DNA analysis Genetic Resources and Crop Evolution, 64:805-814
2. Yamamoto M, Takakura A, Tanabe A, Teramoto S, Kita M (2017) Diversity of *Citrus depressa* Hayata (Shiikuwasha) revealed by DNA analysis Genetic Resources and Crop Evolution, 64:805-814
3. Yamamoto M (2017) Fruit trees on Tanega-shima and Yaku-shima Islands The Osumi Islands: Culture, Society, Industry and Nature, 45-49
4. 寺本さゆり, 二宮隆徳, 山本雅史 (2017) 喜界島 (鹿児島県) 在来カンキツ‘シークー’ (*Citrus* sp.) のベルガモット様香気成分の特徴およびその遺伝的背景 園芸学研究, 16:239-248
5. 相場慎一郎, 富山清升, 川西基博, 福元しげ子, 上村文, 遠城道雄, 築地新光子, 宮本句子, 落合晋作, 永榮大樹, 前田芳之 (2017) 鹿児島県における 2016 年 1 月寒波の植物への影響 Nature of Kagoshima, 43:461-464
6. 相場慎一郎 (2017) 西太平洋湿潤地域の植生帯と針葉樹優占の生物地理学 日本生態学会誌, 67:313-321
7. 鈴木英治 (2017) 鹿児島大学総合研究博物館維管束植物標本庫とデータベースの紹介 鹿児島大学博物館ニュースレター, 40:6-8
8. Anbutso H, Moriyama M, Nikoh N, Hosokawa T, Futahashi R, Tanahashi M, Meng X-Y, Kuriwada T, Mori N, Oshima K, Hattori M, Fujie M, Satoh N, Maeda T, Shigenobu S, Koga R, Fukatsu T (2017) Small genome symbiont underlies cuticle hardness in beetles. Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America, 114:8382-8391
9. 森永龍之介, 棚瀬光, 角拓人, 栗和田隆 (2017) 鹿児島大学鴨池実習地でのシジミチョウ類の発生活動. Nature of Kagoshima, 43:271-274
10. Kuriwada T (2017) Individual variation and repeatability in calling song of the field cricket *Loxoblemmus equestris* (Orthoptera: Gryllidae) 鹿児島大学教育学部研究紀要 自然科学編, 68:5-12
11. Kuriwada T (2017) Male-male courtship behaviour, not relatedness, affects the intensity of contest competition in the field cricket. Animal Behaviour, 126:217-220
12. Kuriwada T, Reddy GVP (2017) Volcanic ash decreases mating effort in the field cricket *Gryllus bimaculatus* (Orthoptera: Gryllidae). Journal of Asia-Pacific Entomology, 20:377-380
13. Otsuka Y (2017) The black fly of the Osumi islands The Osumi Islands: Culture, Society, Industry and Nature, :99-103
14. 津田勝男, 坂巻祥孝 (2017) 喜界島におけるゴマダラカミキリ類の昆虫病原糸状菌製剤 “バイオリサ・カミキリ” による防除 植物防疫, 71:590-594
15. Tomiyama T (2017) Genetic variations of esterase isozymes in land snail, *Satsuma tanegashimae* (Pilsbry, 1901) (Gastropoda: Camenidae). Biogeography, 72:126-140
16. 国村真希, 富山清升, 今村留美子, 河野尚美 (2017) マングローブ干潟におけるキヌカツギハマシイノミガイ *Melampus* (*Micromelampus*) *sincaporensis* Pfeiffer, 1855 と *カワザンショウガイ* 科数種の間の生活史比較 Nature of Kagoshima, 43:9-8
17. 田口晃平, 富山清升 (2017) 鹿児島県と宮崎県の県境における陸産貝類の分布 Nature of Kagoshima, 43:77-88
18. 鮎田理人, 富山清升 (2017) 鹿児島県薩摩半島南部の陸産貝類相の生物地理学的分析 Nature of Kagoshima, 43:99-109
19. 岡本康汰, 富山清升 (2017) 鹿児島県南九州市・指宿市における陸産貝類の分布 Nature of Kagoshima, 43:37-42
20. 東中川 荘, 富山清升 (2017) 鹿児島県枕崎市の陸産貝類相の生物地理学的分析 Nature of Kagoshima, 43:89-98
21. 君付雄大, 富山清升 (2017) 鹿児島市北部における陸産貝類の分布 Nature of Kagoshima, 43:59-74
22. 染川さおり, 富山清升 (2017) 鹿児島大学理学部林園水槽内における外来種淡水性巻貝の *サカマキガイ* (*Physa acuta*) と *インドヒラマキガイ* (*Indopranorbis exustus*) の生活史 Nature of Kagoshima, 43:19-30
23. 吉田健一, 富山清升 (2017) 鹿児島湾におけるウミナ *Batillaria multiformis* 集団のサイズ頻度分布季節変動. Nature of Kagoshima, 43:111-127
24. 河野尚美, 富山清升, 今村留美子, 国村真希 (2017) 鹿児島湾におけるヒメウズラタマキビ *Littoraria* (*Littorinis*) *intermedia* (Philippi, 1846) の生息地による生活史の比較 Nature of Kagoshima, 43:363-365
25. 井上真理奈, 富山清升 (2017) 鹿児島湾喜入において防災整備事業によって破壊された愛宕川河口干潟の巻貝相の生態回復 Nature of Kagoshima, 43:43-58
26. 原井美波, 富山清升 (2017) 鹿児島湾桜島袴腰の転石海岸における *ムラサキクルマナマコ* の生活史 Nature of Kagoshima, 43:30-37
27. 福元しげ子 (2017) 宇治群島宇治島の *アリ* Nature of Kagoshima, 43:295-296
28. 山根正気, 福元しげ子, 前田芳之, 佐藤幸雄 (2017) 奄美群島加計呂麻島からの *アリ* 類の記録 日本生物地理学会会報, 71:131-137
29. Mameno K, Kubo T, Suzuki M (2017) Social challenges of spatial planning for outdoor cat management in Amami Oshima Island, Japan. Global Ecology and Conservation, 10:184-193
30. 鈴木真理子, 大海昌平 (2017) 奄美大島における自動撮影カメラによるアマミノクロウサギの離乳期幼獣個体へのイネエコ捕獲の事例 哺乳類科学, 57:241-247
31. 鈴木真理子, 大海昌平 (2017) 奄美大島の果樹園の同一繁殖穴におけるアマミノクロウサギの繁殖と養育行動の 2 事例 哺乳類科学, 57:257-266
32. Kawai K (2017) Trends in natural science research on the Osumi Islands.
33. Kawai K, Terada R, Kuwahara S. (eds.) (2017) The Osumi Islands: Culture, Society, Industry and Nature :1-108
34. 緒方沙帆, Rocille PALLA, 上野綾子, 佐藤正典, 鈴木廣志, 山本智子 (2017) 奄美大島沿岸における干潟底生生物

- 相 ベントス学会誌, 72:1-12
35. 藤井 榛子, 上野 綾子, 山本 智子 (2017) 奄美大島笠利湾手花部干潟におけるミドリシヤミセンガイの干潟内分布と底質環境 Nature of Kagoshima,
  36. Kawai K, Terada R, Kuwahara S (2017) The Osumi Islands: Culture, Society, Industry and Nature. ,
  37. Nakamura T, Matsuyama N, Kirino M, Kasai M, Kiyohara S, Ikenaga T (2017) Distribution, innervation, and cellular organization of taste buds in sea catfish, *Plotosus japonicus*. Brain, Behavior and Evolution, 89:209-218
  38. Kise H, Fujii T, Masucchi GD, Biondi P, Reimer JD (2017) Three new species and the molecular phylogeny of Antipahtozoanthus from the Indo-Pacific Ocean (Anthozoa, Hexacorallia, Zoantharia) Zookeys, 725:97-122
  39. Reimer JD, Fujii T (2017) Zoantharia (Cnidaria: Anthozoa: Hexacorallia) Diversity Research in Japan: Current State and Future Trends In: Species Diversity of Animals in Japan (Eds. Motokawa M & Kajihara H), :383-399
  40. Hamada T, Hayasaki M, Kitahara H, Yamashita K, Kariyazaki A, Onitsuka S, Okamura H (2017) Essential oil composition of citrus peels in Kikai-jima Island, Japan American Journal of Essential Oils and Natural Products, 5:12-15
  41. Hamada T, Onitsuka S, Okamura H (2017) Study on the Marine Natural Products Chemistry of the Red Alga, Hanayanagi, in the Ohsumi Islands The Ohsumi Islands, :89-94
  42. Maeda K, Hamada T, Onitsuka S, Okamura H (2017) Total Synthesis of the Claimed Structure of (±)-Hyptinin and Structural Revision of Natural Journal of Natural Products, 80:1446-1449
  43. Koeda K, Motomura H (2017) A new species of Pempheris (Perciformes: Pempheridae) endemic to the Ogasawara Islands, Japan Ichthyological Research, doi 10.1007/s10228-017-0586-3
  44. Wibowo K, Motomura H (2017) A new species of the deepwater scorpionfish genus *Phenacoscorpius* (Teleostei: Scorpaenidae) from the Galapagos Islands Zootaxa, 4232:261-268
  45. Okamoto M, Motomura H (2017) An additional specimen of a rare lanternbelly *Acropoma lecorneti* (Perciformes: Acropomatidae) from Vanuatu, South Pacific Ocean Cybium, 41:373-375
  46. Motomura H, Harazaki S (2017) Annotated checklist of marine and freshwater fishes of Yaku-shima island in the Osumi Islands, Kagoshima, southern Japan, with 129 new records Bulletin of the Kagoshima University Museum, 9:1-183
  47. Kakioka R, Muto N, Takeshima H, Gaje AC, CruzRS, Alama UB, Guzman AMT, Ferdinand R, Traifalger M, Babaran RP, MudaO, Arshaad WM, Arnupapboon S, Phuttharaksa K, Nguyen QV, Pham TT, Motomura H, Muto F, Ishikawa S (2017) Cryptic genetic divergence in *Scolopsis taenioptera* (Perciformes: Nemipteridae) in the western Pacific Ocean Ichthyological Research, doi 10.1007/s10228-017-0596-1
  48. Yoshida T, Motomura H (2017) Distributional range extension and live coloration of the Indo-Pacific deepwater cardinalfish *Ostorhinchus cheni* (Perciformes: Apogonidae) Species Diversity, 22:225-230
  49. Wibowo K, Motomura H (2017) First confirmed record of the Samoan Pipefish *Halicampus matafaae* (Perciformes: Syngnathidae) from Japan Species Diversity, 22:219-223
  50. Koeda K, Yoshida T, Motomura H (2017) First Japanese and northernmost distributional record of *Pseudoplesiops immaculatus* (Perciformes: Pseudochromidae: Pseudoplesiopinae) from the Tokara Islands Biogeography, 19:55-60
  51. Tashiro S, Motomura H (2017) First Japanese record of the Barred Perchlet, *Plectranthias fourmanoiri* (Perciformes: Serranidae), from the Ryukyu Islands Species Diversity, 22:81-85
  52. Muto N, Alama UB, Kakioka R, Babaran RP, Motomura H (2017) First record of *Lutjanus madras* (Perciformes: Lutjanidae) from the Pacific Ocean, with comments on its intraspecific morphological variation Cybium, 41:295-298
  53. Hata H, Motomura H (2017) First record of the engraulid fish *Encrasicholina macrocephala* (Clupeiformes) from Somalia Check List, 13:47-51
  54. Matsunuma M, Kai Y, Motomura H (2017) First record of the false scorpionfish *Centrogenys vaigiensis* (Perciformes: Centrogeniidae) from the western Indian Ocean Cybium, 41:290-292
  55. Hata, H, Iwatsubo H, Yamada M, Maekawa T, Motomura H (2017) First records of *Sphyrna iburiensis* (Perciformes: Sphyrnidae) from the Amami Islands and southern Kyushu, Japan Biogeography, 19:10-16
  56. Fujiwara K, Alama UB, Okamoto M, Motomura H (2017) First records of the acropomatid fish (Teleostei: Perciformes), *Parascombrops yamanouei*, from Japan and the Philippines Biogeography, 19:85-92
  57. Fujiwara K, Alama UB, Okamoto M, Motomura H (2017) First records of the acropomatid fish (Teleostei: Perciformes), *Parascombrops yamanouei*, from Japan and the Philippines Biogeography, 19:85-92
  58. Hata H, Iwatsubo H, Motomura H (2017) First records of the Cocoa Snapper *Paracaesio stonei* (Perciformes: Lutjanidae) from the Satsunan Islands, Japan Fauna Ryukyuana, 36:55-62
  59. Hata H, Iwatsubo H, Motomura H (2017) First specimen-based records of *Pristipomoides auricilla* (Perciformes: Lutjanidae) from the Satsunan Islands, Japan Biological Magazine Okinawa, 55:19-26
  60. Koeda K, Fujii T, Koeda S, Motomura H (2017) Fishes of Yoro-jima and Uke-jima islands in the Amami Islands: 89 new specimen-based records Memoirs of Faculty of Fisheries Kagoshima University, 65:1-20
  61. Johnson, J. W, Motomura H (2017) Five new species of *Paraperis* (Perciformes: Pinguipedidae) from Southeast Asia and northwest Australia Zootaxa, 4320:121-145
  62. Lavou S, Bertrand J, Chen W-J, Ho H-C, Motomura H, Hata H, Sado T, Miya M (2017) Molecular systematics of the anchovy genus *Encrasicholina* in the Northwest Pacific PLoS One, 12:e0181329-
  63. Fukui Y, Motomura H (2017) New records of *Oxycheilinus samurai* (Perciformes: Labridae) from Indonesia and New Caledonia Cybium, 41:376-378
  64. Motomura H, Yoshida T, Vilasri V (2017) New species of the anthiadin genus *Sacura* (Perciformes: Serranidae) from the Andaman Sea Zootaxa, 4306:291-295
  65. Fricke R, Kawai T, Yato T, Motomura H (2017) *Peristedion longicornutum*, a new species of armored gurnard from the western Pacific Ocean (Teleostei: Peristediidae) Journal of the Ocean Science Foundation, 8:90-102
  66. Lavou S, Bertrand J, Chen W-J, Ho H-C, Motomura H, Sado T, Miya M (2017) Phylogenetic position of the rainbow sardine *Dussumieria (Dussumieriidae)* and its bearing on the early evolution of the Clupeoidei Gene, 623:41-47
  67. Wilcox CL, Motomura H, Matsunuma M, Bowen BW (2017) Phylogeographic analyses of four putative lionfish (Pterois) species indicate taxonomic over splitting and hybrid origin for the invasive *Pterois volitans* Journal of Heredity, 2016:1-14
  68. Matsunuma M, Yoshida T, Motomura H (2017) Records of *Spottobrotula mahodadi* (Ophidiiformes: Ophidiidae) and *Hapalogenys bengalensis* (Perciformes: Hapalogenyidae) from the Andaman Sea, with a note on the fresh coloration of S.



- mahodadi Species Diversity, 22:73-79
69. Koeda K, Maekawa T, Wada H, Motomura H (2017) Records of the Orange Goatfish, *Mulloidichthys pflugeri* (Teleostei: Mullidae), from Amami-oshima and Yonaguni-jima islands in the Ryukyu Archipelago, southern Japan South Pacific Studies, 37:1-8
  70. Matsunuma M, Bogorodsky SV, Mal AO, Ando Y, Motomura H (2017) Reinstatement of *Minous inermis* and *M. trachycephalus* (Synanceiidae) to the checklist of Red Sea fishes, with comments on *M. monodactylus* Marine Biodiversity, doi 10.1007/s12526-017-0716-1
  71. Matsunuma M, Motomura H, Bogorodsky SV (2017) Review of Indo-Pacific dwarf lionfishes (Scorpaenidae: Pteroinae) in the *Dendrochirus brachypterus* complex, with description of a new species from the western Indian Ocean Ichthyological Research, doi 10.1007/s10228-017-0583-6
  72. Motomura H, Nishiyama H, Chiba SN (2017) Review of the *Chromis xanthura* species group (Perciformes: Pomacentridae), with description of a new species Ichthyological Research, doi 10.1007/s10228-017-0601-8
  73. Ho H-C, Motomura H, Hata H, Jiang W-C (2017) Review of the fish genus *Epinnula* Poey (Perciformes: Gempylidae), with description of a new species from the Pacific Ocean Zootaxa, 4363:393-408
  74. Matsunuma M, Motomura H (2017) Review of the genus *Banjos* (Perciformes: Banjosidae) with descriptions of two new species and a new subspecies Ichthyological Research, doi: 10.1007/s10228-016-0569-9
  75. Wibowo K, Tashiro S, Motomura H (2017) Seahorses of the genus *Hippocampus* (Syngnathidae) from Kagoshima Prefecture, southern Japan, with a new record of *H. mohnikei* Bleeker, 1853 Nature of Kagoshima, 43:71-76
  76. Murase A, Miki R, Motomura H (2017) Southern limits of distribution of the intertidal gobies *Chaenogobius annularis* and *C. gulosus* support the existence of a biogeographic boundary in southern Japan (Teleostei, Perciformes, Gobiidae) ZookKeys, 725:79-95
  77. Pippard H, Ralph G, Harvey M, Carpenter K, Buchanan J, Fancourt M, Greenfield D, Harwell H, Larson H, Lawrence A, Linardich C, Matsuura K, Motomura H, Munroe T, Myers R, Pollock C, Russell B, Smith-Vaniz W, Vie J-C, Thaman RR, Williams J, Williams I (2017) The conservation status of marine biodiversity in the Pacific Islands of Oceania, :1-59
  78. Wibowo K, Toda M, Motomura H (2017) Validity of *Abudefduf caudobimaculatus* Okada and Ikeda 1939 and synonymies of *Abudefduf vaigiensis* (Quoy and Gaimard 1824) (Perciformes: Pomacentridae) Ichthyological Research, doi 10.1007/s10228-017-0594-3
  79. 畑 晴陵, 伊東正英, 本村浩之 (2017) カタクチイワシ科魚類シロガネアイノコイワシ *Encrasicholina heteroloba* の国内における分布状況 生物地理学会会報, 71:281-288
  80. 藤原恭司, 本村浩之 (2017) クロサギ科魚類タイワンスギの日本における分布状況 生物地理学会会報, 71:151-156
  81. 畑 晴陵, 本村浩之 (2017) トカラ列島から得られたフエフキダイ科魚類ヨコシマフエフキ Nature of Kagoshima, 43:169-174
  82. 福井美乃, 本村浩之 (2017) トカラ列島臥蛇島沖で観察されたホシフグの繁殖行動 Nature of Kagoshima, 43:243-247
  83. 田代郷国, 高山真由美, 本村浩之 (2017) トカラ列島諏訪瀬島から得られたフジナハナダイ *Plectranthias wheeleri* の国内2例目の記録 魚類学雑誌, 64:195-199
  84. 藤原恭司, 岡本 誠, 本村浩之 (2017) トカラ列島西方から得られた琉球列島初記録のハゼ科魚類ホオベニオトヒメハゼ Nature of Kagoshima, 43:231-234
  85. 吉田朋弘, 高山真由美, 本村浩之 (2017) トカラ列島中之島から得られた琉球列島初記録のハタ科サクラダイ Nature of Kagoshima, 43:111-116
  86. 藤原恭司, 伊東正英, 岩坪洗樹, 本村浩之 (2017) トビウオ科魚類シロフチトビウオとチャバネトビウオの鹿児島県本土からの初記録 Nature of Kagoshima, 43:81-87
  87. 藤原恭司, 田代郷国, 高山真由美, 瀬能 宏, 本村浩之 (2017) ハタ科イブハナダイ属魚類 *Plectranthias sheni* の日本からの記録と適用すべき標準和名の検討 魚類学雑誌, 64:121-129
  88. 藤原恭司, 田代郷国, 高山真由美, 瀬能 宏, 本村浩之 (2017) ハタ科イブハナダイ属魚類 *Plectranthias sheni* の日本からの記録と適用すべき標準和名の検討 魚類学雑誌, 64:121-129
  89. 田代郷国, 本村浩之 (2017) ヘビギンボ科ヒメギンボの鹿児島県における分布状況と性的二型に関する形態学的知見 Nature of Kagoshima, 43:211-217
  90. 畑 晴陵, 本村浩之 (2017) 宇治群島から得られた鹿児島県2例目のキビレカワハギ Nature of Kagoshima, 43:235-238
  91. 藤原恭司, 本村浩之 (2017) 奄美群島から得られたウバウオ科魚類 2 種:タスジウミシダウバウオとホソウバウオ Nature of Kagoshima, 43:223-229
  92. 吉田朋弘, 本村浩之 (2017) 奄美群島から得られたテンジクダイ科の稀種ムナホシシモチ *Ostorhinchus cheni* 生物地理学会会報, 71:253-258
  93. 吉田朋弘, 本村浩之 (2017) 奄美群島江仁屋離島から得られた琉球列島初記録のホウボウ科魚類トゲカナガシラ Nature of Kagoshima, 43:89-92
  94. 吉田朋弘, 本村浩之 (2017) 奄美群島江仁屋離島から得られた琉球列島初記録のホウボウ科魚類トゲカナガシラ Nature of Kagoshima, 43:89-92
  95. 岡本 誠, 本村浩之 (2017) 奄美群島西方から得られた日本初記録のハナダイ亜科魚類 *Plectranthias xanthomaculatus* ヌズバハナダイ(新称) 生物地理学会会報, 71:47-52
  96. 畑 晴陵, 前川隆則, 中江雅典, 本村浩之 (2017) 奄美大島から得られたアジ科魚類 3 種:ミナミギンガメアジ, オニアジ, およびホシヒラアジ Nature of Kagoshima, 44:27-35
  97. 畑 晴陵, 前川隆則, 中江雅典, 本村浩之 (2017) 奄美大島から得られたアジ科魚類 3 種:ミナミギンガメアジ, オニアジ, およびホシヒラアジ Nature of Kagoshima, 44:27-35
  98. 畑 晴陵, 岩坪洗樹, 本村浩之 (2017) 奄美大島から得られたギス科魚類ギス Nature of Kagoshima, 44:37-40
  99. 畑 晴陵, 前川隆則, 中江雅典, 本村浩之 (2017) 奄美大島から得られたクロタチカマス科魚類ナガタチカマス Nature of Kagoshima, 44:41-45
  100. 畑 晴陵, 前川隆則, 中江雅典, 本村浩之 (2017) 奄美大島から得られたサバ科魚類ニジョウサバ Nature of Kagoshima, 44:73-76
  101. 畑 晴陵, 前川隆則, 中江雅典, 本村浩之 (2017) 奄美大島から得られたミナミメダイ Nature of Kagoshima, 44:13-

- 16
102. 畑 晴陵, 前川隆則, 栗岩 薫, 中江雅典, 本村浩之 (2017) 奄美大島から得られた薩南諸島初記録および北限記録のイトヨリダイ科魚類ジャバイトヨリ Nature of Kagoshima, 44:21-25
103. 畑 晴陵, 前川隆則, 栗岩 薫, 中江雅典, 本村浩之 (2017) 奄美大島から得られた薩南諸島初記録および北限記録のワニトラギス Nature of Kagoshima, 44:17-20
104. 小枝圭太, 畑 晴陵, 前川隆則, 本村浩之 (2017) 奄美大島から得られた分布北限記録のシロオビブダイ Nature of Kagoshima, 43:207-210
105. 畑 晴陵, 本村浩之 (2017) 屋久島から得られたタイ科魚類タイワンダイ Nature of Kagoshima, 43:161-164
106. 稲葉智樹, 畑 晴陵, 本村浩之 (2017) 宮古島北方から得られた琉球列島初記録のクマノカクレウオ Nature of Kagoshima, 43:53-55
107. 畑 晴陵, 伊東正英, 本村浩之 (2017) 九州沿岸から初めて得られたフグ科魚類オキナワフグ Nature of Kagoshima, 43:239-242
108. 岩坪洗樹, 橋口 亘, 本村浩之 (2017) 九州初記録ならびに分布北限記録更新のセスジタカサゴイシモチ Nature of Kagoshima, 43:101-103
109. 岩坪洗樹, 橋口 亘, 本村浩之 (2017) 九州初記録のユゴイ科魚類オオクチュユゴイ Nature of Kagoshima, 43:189-192
110. 小枝圭太, 木村祐貴, 本村浩之 (2017) 口永良部島から採集されたクダゴンベの記録 Nature of Kagoshima, 43:181-184
111. 吉田朋弘, 木村祐貴, 本村浩之 (2017) 口永良部島から得られたカエルアンコウ科魚類カエルアンコウモドキ Nature of Kagoshima, 43:63-65
112. 畑 晴陵, 本村浩之 (2017) 高知県から得られたニシン科魚類カタボシイワシ *Sardinella lemuru* の記録および本種の日本における出現状況 四国自然史科学研究, 10:41-46
113. 畑 晴陵, 本村浩之 (2017) 薩摩川内市沿岸から得られたサザナミヤッコ Nature of Kagoshima, 43:175-179
114. 畑 晴陵, 伊東正英, 本村浩之 (2017) 薩摩半島西岸から得られたクジメ Nature of Kagoshima, 43:93-100
115. 岩坪洗樹, 本村浩之 (編, 著) (2017) 山を望む甕海 鹿児島湾の魚類, :1-302
116. 畑 晴陵, 伊東正英, 本村浩之 (2017) 鹿児島県から得られたイサキ科魚類2種:オシヤレコシヨウダイおよびエリアカコシヨウダイ Nature of Kagoshima, 43:141-148
117. 畑 晴陵, 山田守彦, 本村浩之 (2017) 鹿児島県から得られたイトヨリダイ科魚類シャムイトヨリ *Nemipterus peronii* 南紀生物, 58:215-218
118. 畑 晴陵, 伊東正英, 本村浩之 (2017) 鹿児島県から得られたエボシダイ科魚類エボシダイ Nature of Kagoshima, 43:193-196
119. 萬代あゆみ, 畑 晴陵, 本村浩之 (2017) 鹿児島県から得られたフエフキダイ科魚類オオフエフキ Nature of Kagoshima, 43:165-168
120. 藤原恭司, 伊東正英, 本村浩之 (2017) 鹿児島県から得られた日本初記録のタイ科魚類 *Acanthopagrus taiwanensis* イワツキクロダイ(新称) 魚類学雑誌, 64:107-112
121. 畑 晴陵, 本村浩之 (2017) 鹿児島県奄美大島から得られたカタクチイワシ科魚類ミズスルル *Encrasicholina pseudoheteroloba* の北限記録 生物地理学会会報, 71:203-208
122. 川間公達, 伊東正英, 本村浩之 (2017) 鹿児島県薩摩半島から得られたイソギンポ科オオボロゲタガミカエルウオ Nature of Kagoshima, 43:219-222
123. 吉田朋弘, 伊東正英, 本村浩之 (2017) 鹿児島県薩摩半島西岸から得られたテンジクダイ科ヒカリイシモチ Nature of Kagoshima, 43:117-121
124. 吉田朋弘, 本村浩之 (2017) 鹿児島県初記録のボンボリカエルアンコウ Nature of Kagoshima, 43:67-70
125. 松沼瑞樹, 山田守彦, 本村浩之 (2017) 鹿児島県内之浦湾から得られたトラギス科ホームトラギス *Parapercis randalli* の分布北限記録および成長にともなう形態変化 生物地理学会会報, 71:15-24
126. 畑 晴陵, 小枝圭太, 本村浩之 (2017) 鹿児島県内之浦湾から得られたハモ科魚類ハシナガアナゴ Nature of Kagoshima, 43:27-30
127. 畑 晴陵, 西田和記, 本村浩之 (2017) 鹿児島県坊津町野間池から得られた九州沿岸初記録のキリアナゴ Nature of Kagoshima, 43:23-26
128. 藤原恭司, 本村浩之 (2017) 鹿児島県本土から得られた九州初記録のエソ科魚類チョウチョウエソ Nature of Kagoshima, 43:45-48
129. 中村潤平, 小枝圭太, 畑 晴陵, 本村浩之 (2017) 鹿児島県本土初記録のニセゴイシツツボ Nature of Kagoshima, 43:17-21
130. 小枝圭太, 本村浩之 (2017) 鹿児島大学総合研究博物館に所蔵されている胃内容物魚類標本 Nature of Kagoshima, 43:257-269
131. 畑 晴陵, 本村浩之 (2017) 鹿児島湾から得られたアジ科魚類マルコパンの記録 Nature of Kagoshima, 43:127-130
132. 畑 晴陵, 岩坪洗樹, 本村浩之 (2017) 鹿児島湾から得られたオオメメダイ科魚類ナミメダイ Nature of Kagoshima, 43:197-200
133. 畑 晴陵, 本村浩之 (2017) 鹿児島湾から得られたフエダイ科魚類バラヒメダイ 南紀生物, 59:67-70
134. 畑 晴陵, 本村浩之 (2017) 鹿児島湾から得られたマハタモドキ Nature of Kagoshima, 43:105-109
135. 岩坪洗樹, 本村浩之 (2017) 種子島からの標本に基づくアオブラスメダイの記録 Nature of Kagoshima, 43:185-188
136. 畑 晴陵, 高山真由美, 本村浩之 (2017) 種子島から得られたイサキ科魚類ヒゲダイ Nature of Kagoshima, 43:149-153
137. 畑 晴陵, 高山真由美, 本村浩之 (2017) 種子島から得られたニシン科ヤマトミズン属魚類2種:ヤマトミズンとホシヤマトミズンの記録 Nature of Kagoshima, 43:37-44
138. 畑 晴陵, 高山真由美, 本村浩之 (2017) 種子島から得られた薩南諸島初記録のシャムイトヨリ Nature of Kagoshima, 43:155-159
139. 畑 晴陵, 山田守彦, 本村浩之 (2017) 大隅半島東岸内之浦湾から得られたオグロエソ Nature of Kagoshima, 43:49-52
140. 本村浩之 (2017) 第4節 海の動植物. 1 与論島の魚類 与論町誌追録版, :54-56
141. 日比野友亮, 松沼瑞樹, 本村浩之, 木村清志 (2017) 東シナ海から得られた日本初記録のウミヘビ科魚類(条鰭

- 綱:ウナギ目)フチナシウミヘビ(新称) *Pisodonophis sangjuensis* タクサ, 42:41-47
142. 畑 晴陵, 山田守彦, 本村浩之 (2017) 内之浦から得られたニシン科魚類ミズン *Nature of Kagoshima*, 43:31-36
  143. 畑 晴陵, 本村浩之 (2017) 内之浦湾から得られたミナミギンガメアジの記録 *Nature of Kagoshima*, 43:131-136
  144. 小枝圭太, 山田守彦, 本村浩之 (2017) 内之浦湾から得られた九州沿岸初記録のセンネンダイ *Nature of Kagoshima*, 43:137-140
  145. 畑 晴陵, 本村浩之 (2017) 内之浦湾から得られた北限記録のサクラアジ *Nature of Kagoshima*, 43:123-126
  146. 萬代あゆみ, 松沼瑞樹, 本村浩之 (2017) 日本初記録のヤマトシビレエイ科魚類ツキシビレエイ(新称) *Tetronarce formosa* と本種の標徴に関する新知見, および近縁種との形態比較 *魚類学雑誌*, 64:157-170
  147. Takamiya H (2017) The Colonization of the Southern Ryukyu Islands, Japan Annual Meeting Abstracts, 82:559-560
  148. 高宮広土 (2017) 塔原遺跡出土の植物遺体 塔原遺跡(4) 一平成24-26年度町内遺跡発掘調査等に係る埋蔵文化財発掘調査報告書, :77-86
  149. 高宮広土 (2017) 奄美・沖縄の遺跡植物遺体からみた柳田国男『海上の道』仮説:その後 南島考古, 36:187-202
  150. 高宮広土 (2017) 中城御殿跡(首里高校内)出土の植物遺体 中城御殿跡(首里高校内)一首里高校校舎改築に伴う発掘調査, :254-258
  151. 高宮広土 (2017) 奄美・沖縄のヒトと自然の歴史:公開シンポジウム報告 日本熱帯生態学会ニューズレター, 108:8-13
  152. 高宮広土 (2017) 奄美・沖縄諸島先史時代の独自性 2017 年次日本島嶼学会飯島大会発表要旨集, :20-20
  153. 高津 孝 (2017) 江戸の博物学 島津重豪と南西諸島の本草学, :1-111
  154. Yamamoto S (2017) Medicinal Plants of Tanega-shima and Yaku-shima Islands The Osumi Islands: Culture, Society, Industry and Nature (Kawai, K., Terada, R. and Kuwahara, S. eds), :50-68
  155. 末多情 (2017) 奄美大島におけるエコツーリズムの受容プロセス 島嶼研究, 18:35-54

## 平成 30(2018)年

1. 寺田仁志・山崎仁也・川西基博 (2018) 日本南限のウバメガシ林がある沖縄県伊是名島アカラ御嶽の植生について 沖縄県立博物館・美術館, 博物館紀要, 11:15-36
2. 川西基博, 横田圭祐, 安田真悟 (2018) 奄美大島の河川下流域に成立する河畔植生と外来植物の定着状況 南太平洋海域調査研究報告書, 59:5-6
3. 山本雅史 (2018) DNA 分析による奄美群島在来シクワサー (*Citrus depressa*) の多様性の解明 南太平洋海域調査研究報告書, 59:15-18
4. 鈴木英治, 山元茜 (2018) 奄美大島へのヒメジョオン(キク科)の侵入 南太平洋海域調査研究報告書, 59:1-2
5. 鈴木英治 (2018) 鹿児島県のイラクサ科カテンソウ属(*Nanocnide*)の分布確認報告 鹿児島県植物研究会誌, 7
6. Nagai T, Kuriwada T (2018) Individual variation in body color in the field cricket *Teleogryllus occipitalis* (Orthoptera: Gryllidae). *Entomological Science*, 21:22-27
7. Oku J, Sakamaki Y, Yagi S (2018) A new species of the genus *Nosphistica* Meyrick (Lepidoptera, Lecithoceridae) from Japan, *Lepidoptera Science* *Lepidoptera Science*, 69:107-112
8. Oku J, Sakamaki Y, Sameshima S, Tsuda K, Terada T (2018) Records of Gelechioidmoths from Amami-shima Island *Lepidoptera Science*, 69:19-32
9. Herwina H, Satria R, Yaherwandi, Sakamaki Y (2018) Subterranean ant species diversity (Hymenoptera: Formicidae) in educational and biological research forest of universitas andalas, Indonesia *Journal of Entomology and Zoology Study*, 6:1720-1724
10. 坂巻祥孝, 三宅正隆, 津田勝男 (2018) 喜界島産ゴマダラカミキリ類核 DNA にみられた遺伝子汚染、南太平洋海域調査研究報告書, 59:19-20
11. 柳本和哉, 檜崎康二, 坂巻祥孝, 上田明良, 後藤秀章, (2018) 国内初記録のギンバネスガの一種(*Thecobathra lambda* (Moriuti) フウノキギンバネスガ(新称))によるモミジバフウ(*Liquidambar styraciflua*)の被害について、森林防疫, 67:5-8
12. 中島貴幸, 片野田裕亮, 小麦崎 彰, 轟木直人, 富山清升 (2018) フトヘナタリ(*Cerithidea rhizophorarum*)の生態学的研究:異なる環境下における同種の個体群間比較と $\omega$ 指数に基づく種間関係の分析 *Nature of Kagoshima*, 44:181-188
13. 吉田 騰, 今村留美子, 富山清升 (2018) マングローブ干潟におけるカワアイ *Cerithiopsis dajariensis* の サイズ分布と他の貝との種間関係の季節変 *Nature of Kagoshima*, 44:129-136
14. 今村留美子, 富山清升 (2018) マングローブ干潟におけるカワアイのサイズ分布の季節変化 *Nature of Kagoshima*, 44:129-136
15. 平田今日子, 富山清升 (2018) マングローブ干潟におけるヘナタリ *Cerithidea cingulate* (Gmelin, 1790) のサイズ頻度分布の季節変化と $\omega$ 指数に基づく他種との共存関係 *Nature of Kagoshima*, 44:163-172
16. 田上英憲, 富山清 (2018) 干潟におけるウミナナの生態 *Nature of Kagoshima*, 44:119-128
17. 福留宗一郎, 富山清升 (2018) 干潟におけるウミナナ集団のサイズ頻度分布季節変化の個体群間比較, *Nature of Kagoshima* *Nature of Kagoshima*, 44:137-144
18. 吉田 悠一, 富山清升 (2018) 桜島の火山溶岩の転石海岸におけるカヤノミカニモリ *Clypeomorus bifasciata* (G.B. Sowerby II, 1855)の生活史 *Nature of Kagoshima*, 44:173-180
19. 片野田裕亮, 中島貴幸, 小麦崎 彰, 轟木直人, 富山清升 (2018) 鹿児島県喜入町のマングローブ干潟におけるヘナタリ *Cerithidea cingulate* (Gmelin, 1791)の生活史と $\omega$ 指数に基づく種間関係の分析 *Nature of Kagoshima*, 44:189-200
20. 原口由子, 富山清升 (2018) 鹿児島県鹿児島市伍位野川におけるマーキング法によるイシマキガイ *Clithon retropictus* の生態の研究 *Nature of Kagoshima*, 44:145-150
21. 大窪和理, 富山清升, 内田里那, 小長井利彦, 中島貴幸, 市川志野 (2018) 鹿児島県大隅諸島におけるヤマタニシ (*Cyclophorus herklotsi* Martens, 1860) (原始紐舌目; ヤマタニシ科) の殻の形態に基づく個体群間変異の分析 日本生物地理学会誌,
22. 高田晃平, 村永 蓮, 富山清升 (2018) 鹿児島県喜入干潟におけるフトヘナタリ *Cerithidea* (*Cerithidea*) *rhizophorarum* *rhizophorarum* の生活史 *Nature of Kagoshima*, 44:225-232

23. 村永 蓮, 高田滉平, 富山清升 (2018) 鹿児島湾喜入での防災整備事業により破壊された干潟における腹足類貝類の動物相の生態回復 *Nature of Kagoshima*, 44:233-248
24. 小野田 剛, 富山清升, 菊池陽子, 古城祐樹, 小原淑子, 杉田典正 (2018) 同所的に生息する淡水巻貝カワニナ *Semisulcospira libertina* (Gould, 1859) (吸腔目; カワニナ科) とイシマキガイ *Clithon retropictus* (Martens, 1879) (アマオブネガイ目; アマオブネガイ科) 2 種の微小生息場所環境 *日本生物地理学会誌*, 72:35-43
25. 下之段佑一, 山根正気, 富山清升 (2018) 宝島および奄美群島におけるアオカナヘビ *Takydromus smaradinus* の形態変異の分析 *Nature of Kagoshima*, 44:201-210
26. Terada R, Nakazaki Y, Borlongan IA, Endo H, Nishihara GN (2018) Terada, R., Nakazaki, Y., Borlongan, I. A., Endo, H., Nishihara, G. N. 2018. Desiccation effect on the PSII photochemical efficiency of cultivated Japanese *Caulerpa lentillifera* under the shipping package environment. *Journal of Applied Phycology* 61: DOI: 10.1007/s10811-018-1442-1 *Journal of Applied Phycology*, DOI: 10.1007/s10811-018-1442-1
27. Uyeno D, Johnsson R (2018) Two new species of Siphonostomatoida (Copepoda) found on cnidarians in Tokara Islands, Southern Japan *Journal of Natural History*, 52:2639-2652
28. 藤井, 立川, 横地 (2018) アミトリセンベイサンゴ *Leptoseris amitoriensis* (イシサンゴ目ヒラフキサンゴ科) の奄美大島からの記録. *日本動物分類学会誌タクサ*, 44:52-57
29. 濱田季之, 鬼束聡明, 岡村浩昭 (2018) 薩南諸島の天然資源に含まれる二次代謝産物に関する研究 *南太平洋海域調査研究報告書*, 59:67-70
30. Nakae M, Motomura H, Hagiwara K, Senou H, Koeda K, Yoshida T, Tashiro S, Jeong B, Hata H, Fukui Y, Fujiwara K, Yamakawa T, Aizawa M, Shinohara G, Matsuura K (2018) An annotated checklist of fishes of Amami-oshima Island, the Ryukyu Islands, Japan *Memoirs of the National Museum of Nature and Science*, Tokyo, 52:205-361
31. Mochida I, Motomura H (2018) An annotated checklist of marine and freshwater fishes of Tokunoshima island in the Amami Islands, Kagoshima, southern Japan, with 202 new records *Bulletin of the Kagoshima University Museum*, 10:1-80
32. Tashiro S, Senou H, Motomura H (2018) *Enneapterygius velatus*, a new deepwater triplefin (Perciformes: Tripterygiidae) from the Ryukyu Islands, southern Japan *Ichthyological Research*, doi 10.1007/s10228-018-0617-8
33. Yoshida T, Kuriwa K, Motomura H (2018) First confirmed Japanese record of *Suttonia lineata* (Perciformes: Serranidae) from Iwo Island, Volcano Islands *Species Diversity*, 23:229-232
34. Uejo T, Wibowo K, Motomura H (2018) First Japanese record of the Black Margined-scale Sergeant *Abudefduf nigrimargo* (Perciformes: Pomacentridae) from the Tokara Islands *Species Diversity*, 23:249-251
35. Tashiro S, Uyeno D, Motomura H (2018) First Japanese records of the jawfish *Opistognathus solorensis* (Actinopterygii: Perciformes: Opistognathidae) from the Osumi Islands *Species Diversity*, 23:233-237
36. Hata H, Iwatsubo H, Motomura H (2018) First record of *Gracila albomarginata* (Perciformes: Serranidae) from the Tokara Islands, Japan *Biological Magazine Okinawa*, 56:33-38
37. Delloro ES Jr, Motomura H (2018) First records of *Giganthias immaculatus* (Perciformes: Giganthiidae) from the Osumi and Tokara islands, Kagoshima Prefecture, Japan, with notes on sexual dimorphism *Nature of Kagoshima*, 45:21-25
38. Wibowo K, Motomura H (2018) First Southern Hemisphere records of the deepwater scorpionfish *Phenacoscorpius megalops* (Scorpaenidae) *Cybius*, 42:210-212
39. Fukui Y, Uchida T, Motomura H (2018) First specimen-based record of *Ammolabrus dicrus* (Perciformes: Labridae) from Japanese waters, with notes on morphological ontogenetic changes and geographic variation *Species Diversity*, 23:115-120
40. Short G, Smith R, Motomura H, Harasti D, Hamilton H (2018) *Hippocampus japapigu*, a new pygmy seahorse from Japan, with a redescription of *H. pontohi* (Teleostei: Syngnathidae) *ZooKeys*, 779:27-49
41. Okamoto M, Motomura H (2018) *Navigobius asayake*, a new species of ptereleotrine goby (Gobioidei: Microdesmidae) from Kagoshima, southern Japan *Zootaxa*, 4526:373-380
42. Yoshida T, Hayashi M, Motomura H (2018) *Ostorhinchus yamato*, a new species of cardinalfish (Perciformes: Apogonidae) from Japan *Ichthyological Research*, doi: 10.1007/s10228-018-0670-3
43. Wada H, Senou H, Motomura H (2018) *Plectranthias maekawa*, a new species of perchlet from the Tokara Islands, Kagoshima, Japan with a review of Japanese records of *P. wheeleri* (Serranidae: Anthiadinae) *Ichthyological Research*, doi: 10.1007/s10228-018-0674-z
44. Yoshida T, Motomura H (2018) Redescription of the Indo-West Pacific cardinalfishes (Perciformes: Apogonidae) *Rhabdamia spilota* Allen & Kuiter 1994 and *R. gracilis* (Bleeker 1856) *Zootaxa*, 4377:178-190
45. Tashiro S, Motomura H (2018) Redescriptions of two western Pacific triplefins (Perciformes: Tripterygiidae), *Enneapterygius fuscoventer* and *E. howensis* *Ichthyological Research*, doi 10.1007/s10228-017-0612-5
46. Tashiro S, Motomura H (2018) Redescriptions of two western Pacific triplefins (Perciformes: Tripterygiidae), *Enneapterygius fuscoventer* and *E. howensis* *Ichthyological Research*, doi: 10.1007/s10228-017-0612-5
47. Fujiwara, K, Okamoto M, Motomura H (2018) Review of the clingfish genus *Kopua* (Gobiesocidae: Trachelochisminae) in Japan, with description of a new species *Ichthyological Research*, doi: 10.1007/s10228-018-0633-8
48. Murase A, Miki R, Wada M, Ito M, Motomura H, Senou H (2018) Review of the Japanese records of an endangered grouper, *Epinephelus tukula*, with notes on the population status (Teleostei: Serranidae) *ZooKeys*, 722:153-163
49. Matsunuma M, Fukui Y, Motomura H (2018) Review of the *Ostichthys japonicus* complex (Perciformes: Holocentridae: Myripristinae) in the northwestern Pacific Ocean, with description of a new species *Ichthyological Research*, doi 10.1007/s10228-018-0625-8
50. Hata H, Motomura H (2018) *Stolephorus continentalis*, a new anchovy from the northwestern South China Sea, and redescription of *Stolephorus chinensis* (Günther 1880) (Clupeiformes: Engraulidae) *Ichthyological Research*, doi 10.1007/s10228-018-0621-z
51. 畑 晴陵, 本村浩之 (2018) カタクチイワシ科魚類タイワンアイノコイワシの志布志湾からの確かな記録 *Nature of Kagoshima*, 44:333-340
52. 岩坪洗樹, 原崎 森, 本村浩之 (2018) タンポポスズメダイの水中写真に基づく屋久島からの記録 *Nature of Kagoshima*, 44:221-223
53. 吉田朋弘, 山田彦珍, 本村浩之 (2018) テンジクダイ科魚類 2 種の水中写真に基づく鹿児島県薩摩半島からの記録 *Nature of Kagoshima*, 45:69-71

54. 畑 晴陵, 大富 潤, 本村浩之 (2018) トカラ列島から得られた鹿児島県初記録および北限記録の準絶滅危惧種アマクチビ(スズキ目: フェエキダイ科) Nature of Kagoshima, 44:95-99
55. 森下悟至, 本村浩之 (2018) トカラ列島諏訪之瀬島から得られたオウゴンニジギンボ Nature of Kagoshima, 45:63-67
56. 小枝圭太, 本村浩之 (2018) トカラ列島平島から採集されたイボオコゼ科の稀種ヒゲモジャオコゼ:3 個体目の記録, 北限記録, および生鮮時の色彩の初確認 魚類学雑誌, doi: 10.11369/jii.18?004
57. 松尾 怜, 松沼瑞樹, 本村浩之, 木村清志 (2018) トラギス科魚類ヤマユリトラギス(新称) *Parapercis kentingsensis* の日本における記録 魚類学雑誌, doi: 10.11369/jii.17?036
58. 和田英敏, 本村浩之 (2018) ニザダイ科魚類ナガテングハギモドキの鹿児島県薩摩半島と種子島からの記録 Nature of Kagoshima, 44:315-319
59. 森下悟至, 本村浩之 (2018) フサカサゴ科マツバラカサゴ属魚類 *Neomerinthe erostris* ヤブサメカサゴ(新称)の日本からの初記録 タクサ, 44:58-63
60. 畑 晴陵, 川間公達, 本村浩之 (2018) 宇治群島から得られた魚類 3 種の記録 Nature of Kagoshima, 44:257-264
61. 本村浩之, 萩原清司, 瀬能 宏, 中江雅典(編) (2018) 奄美群島の魚類, :1-414
62. 川間公達, 本村浩之 (2018) 奄美群島沖永良部島から得られたモンガラカワハギ科ソロイモンガラ Nature of Kagoshima, 44:265-268
63. 萩原清司, 本村浩之 (2018) 奄美群島加計呂麻島から採集された日本初記録のイトウダイ科魚類 *Sargocentron iota* コガシラエビス(新称) 魚類学雑誌, doi: 10.11369/jii.18?035
64. 畑 晴陵, 前川隆則, 本村浩之 (2018) 奄美大島から得られたウマヅラアジ Nature of Kagoshima, 44:371-375
65. 畑 晴陵, 前川隆則, 本村浩之 (2018) 奄美大島から得られたフエダイ科魚類バケアカムツ Nature of Kagoshima, 44:253-256
66. 畑 晴陵, 藤井琢磨, 本村浩之 (2018) 奄美大島から得られたリュウグウノツカイ Nature of Kagoshima, 45:123-127
67. 吉田朋弘, 本村浩之 (2018) 沖縄島から得られたテンジクダイ科魚類の稀種シロヘリテンジクダイ 日本生物地理学会会報, 73:156-159
68. 中村潤平, 高久 至, 畑 晴陵, 本村浩之 (2018) 屋久島で撮影されたイヤゴハタとカケハシハタの交雑個体 Nature of Kagoshima, 45:79-91
69. 荒木萌里, 高久 至, 本村浩之 (2018) 屋久島におけるトラギス属魚類 2 種の記録 Nature of Kagoshima, 45:83-87
70. 畑 晴陵, 本村浩之 (2018) 屋久島初記録のナガサキフエダイ Nature of Kagoshima, 44:341-345
71. 岩坪光樹, 本村浩之 (2018) 火山を望む甕海 鹿児島湾の魚類, :1-302
72. 吉田朋弘, 栗岩 薫, 本村浩之 (2018) 火山列島から得られたハタ科魚類の稀種モモハナスズキ *Liopropoma pallidum* の記録 魚類学雑誌, doi: 10.11369/jii.17-038
73. 畑 晴陵, 伊東正英, 鎌木統一, 本村浩之 (2018) 九州沿岸と種子島から初めて記録されたフェエキダイ科魚類キツネフエキ Nature of Kagoshima, 44:327-332
74. 畑 晴陵, 本村浩之 (2018) 九州沿岸初記録のトビウオ科魚類ニノトビウオ Nature of Kagoshima, 45:49-53
75. 畑 晴陵, 本村浩之 (2018) 九州沿岸初記録のマンジュウダイ科魚類ミカヅキツバメウオの記録 Nature of Kagoshima, 45:73-77
76. 小枝圭太, 畑 晴陵, 山田守彦, 本村浩之 (2018) 黒潮あたる鹿児島湾の内之浦漁港に水揚げされる魚たち, :1-520
77. 畑 晴陵, 伊東正英, 本村浩之 (2018) 薩摩半島から得られた鹿児島県初記録のクロタチカマス科魚類フウライカマス Nature of Kagoshima, 44:307-310
78. 畑 晴陵, 伊東正英, 本村浩之 (2018) 薩摩半島西岸から得られたエビスシイラ Nature of Kagoshima, 44:211-214
79. 藤原恭司, 伊東正英, Kunto Wibowo, 本村浩之 (2018) 鹿児島県から採集された準絶滅危惧種ハナザメのアルビノ Nature of Kagoshima, 44:151-155
80. 畑 晴陵, 山田守彦, 本村浩之 (2018) 鹿児島県から得られたカラチョウザメの形態学的・生態学的知見 Nature of Kagoshima, 44:157-161
81. 畑 晴陵, 伊東正英, 本村浩之 (2018) 鹿児島県から得られたコバンザメ科魚類シロコバン Nature of Kagoshima, 44:249-252
82. 畑 晴陵, 岩坪光樹, 高山真由美, 本村浩之 (2018) 鹿児島県から得られたハタ科魚類 2 稀種の記録 Nature of Kagoshima, 44:363-369
83. 萬代あゆみ, 伊東正英, 本村浩之 (2018) 鹿児島県から得られた北半球初記録のヒメジ科魚類 *Upeneus spottocaudalis* ユカタヒメジ(新称) 魚類学雑誌, doi: 10.11369/jii.17?056
84. 和田英敏, 萩原清司, 本村浩之 (2018) 鹿児島県沖永良部島から得られた北限記録のヒラウミタケハゼおよび本種の生態学的新知見 Nature of Kagoshima, 45:103-107
85. 吉田朋弘, 木村祐貴, 本村浩之 (2018) 鹿児島県口永良部島から得られたテンジクダイ科魚類ヤツゲテンジクダイ 日本生物地理学会会報, 72:236-241
86. 畑 晴陵, 三木涼平, 本村浩之 (2018) 鹿児島県初記録のタチウオ科魚類カンムリダチ Nature of Kagoshima, 44:303-306
87. 萬代あゆみ, 伊東正英, 高山真由美, 本村浩之 (2018) 鹿児島県本土と大隅諸島から初めて記録されたヒメジ科魚類コンシヒメジ Nature of Kagoshima, 44:321-325
88. 畑 晴陵, 大富 潤, 本村浩之 (2018) 鹿児島湾初記録のヒウチダイ科魚類ハシキンメ Nature of Kagoshima, 44:377-381
89. 畑 晴陵, 鎌木統一, 本村浩之 (2018) 種子島から得られたマルサヨリ Nature of Kagoshima, 44:359-362
90. 畑 晴陵, 高山真由美, 本村浩之 (2018) 種子島近海から得られたシマガツオ科魚類リュウグウノヒメの記録 Nature of Kagoshima, 44:311-314
91. 畑 晴陵, 本村浩之 (2018) 大隅半島東岸の内之浦湾から得られた九州沿岸初記録のモンガラカワハギ科魚類オキハギ Nature of Kagoshima, 45:55-58
92. 畑 晴陵, 田代郷国, 本村浩之 (2018) 与論島から得られた琉球列島初記録のミナミハダカエソ *Lestrolepis luetkeni* 日本生物地理学会会報, 72:277-281
93. 中村潤平, 山口 実, 本村浩之 (2018) 琉球列島初記録のチゴダラ科魚類ノコクロダラ Nature of Kagoshima, 45:99-102
94. 鈴木廣志, 豊福真也, 岡野智和, 岡野和夏 (2018) 奄美大島嘉徳川における陸水産甲殻十脚類の生息状況と下流

- 域の利用 Nature of Kagoshima, 44:217-221
95. 宮下正昭 (2018) 奄美大島からみえるコミュニティFMの課題と将来性 鹿児島大学人文学科論集, 85:41-56
  96. 高宮広土 (2018) カンテナ遺跡出土の植物遺体 カンテナ遺跡発掘調査報告書, :117-119
  97. 高宮広土・千田寛之・赤嶺信哉 (2018) フェンサ城貝塚出土の植物遺体 沖縄 フェンサ城貝塚の研究, :117-124
  98. 高宮広土 (編) (2018) 奄美・沖縄諸島先史学の最前線, :
  99. 高宮広土 (2018) 奄美・沖縄諸島先史学の最前線: イントロダクション 『奄美・沖縄諸島先史学の最前線』, :5-16
  100. 高宮広土 (2018) 奄美・沖縄諸島先史学の最前線: まとめ 『奄美・沖縄諸島先史学の最前線』, :175-187
  101. 高宮広土 (2018) 奄美諸島先史時代における植物食利用 奄美群島の野生植物と栽培植物, :140-147
  102. 高宮広土・新里貴之・黒住耐二・樋泉岳二 (編) (2018) 沖縄 フェンサ城貝塚の研究, :
  103. 高宮広土 (2018) 先史時代の奄美のヒトと自然の歴史 きよらじま, 25
  104. 高宮広土 (2018) 先史時代の人々は何を食べたかー植物食編 最前線ー 『奄美・沖縄諸島先史学の最前線』, :136-163
  105. 高宮広土 (2018) 前当たり遺跡出土の植物遺体 前当たり遺跡発掘調査報告書, :61-70
  106. 高宮広土 (2018) 炭素・窒素安定同位体比分析からわかる先史時代の食性 『奄美・沖縄諸島先史学の最前線』, :164-173
  107. 高宮広土 (2018) 平成 29 年度鹿児島県立奄美図書館生涯学習講座「あまみならでは学舎」『奇跡の島々(?) : 先史時代の奄美・沖縄諸島』島の根,
  108. 渡辺芳郎 (2018) 近世トカラの物資流通ー陶磁器考古学からのアプローチー, 1-80

## 令和1(2019)年

1. 寺田 仁志・川西 基博・立久井 昭雄・丸岡 仁人 (2019) イチイガシ林, スギ林を含む花尾神社の社叢について 鹿児島立博物館研究報告, 38:25-47
2. 寺田 仁志・川西 基博・山崎 仁也・丸岡 仁人 (2019) 伊平屋島虎頭岩のウバメガシ林について. 伊是名島・伊平屋島総合調査報告書, :59-76
3. 寺田 仁志・川西 基博・山崎 仁也 (2019) ピロウに覆われる沖縄県伊平屋島久葉山の植生について. 伊是名島・伊平屋島総合調査報告書, :77-94
4. 川西基博 (2019) 校庭の植物から生物多様性を学ぶ. 鹿児島大学環境報告書 2019, :9-10
5. Yamamoto M, Nishiguchi N, Shimada A, Matsumoto R (2019) Polymethoxylated flavone content of major cultivars and local accessions of citrus cultivated in Kagoshima, Japan The Horticulture Journal, 88:320-328
6. 田金秀一郎, 丸野勝敏, 鈴木英治 (2019) ハリガネワラビとヤワランダ (ヒメシダ科) を中之島に記録する Nature of Kagoshima, 46:231-234
7. 田金秀一郎, 丸野勝敏 (2019) 下飯島におけるテンナンショウ属 (サトイモ科) の自然雑種 *Arisaema ringens* × *japonicum* Journal of Japanese Botany, in press
8. 川原大基, 鈴木英治, 脇山尚美 (2019) 屋久島・春田浜海岸植生の 15 年間の植生遷移 South Pacific Studies, 40:15-28
9. Hamada H, Kuriwada T (2019) Boldness to predator is not significantly correlated with mating behaviour in a simultaneously hermaphroditic snail. Ethology, Ecology & Evolution, 31:469-478
10. Tajima S, Yamamoto K, Kuriwada T (2019) Interspecific interference competition between two field cricket species Entomological Science, 22:311-316
11. Sohn J.-C, Ponomarenko MG, Sakamaki Y (2019) A new genus of Pexicopiini (Lepidoptera: Gelechiidae) for “*Gelechia*” *acanthopis* Meyrick, 1932, with review of functional morphology of male genitalia in allied genera Zootaxa, 4638:125-135”
12. Kyaw K, Yagi S, Oku J, Sakamaki Y, Hirowatari T (2019) Taxonomic review of the genus *Cnaphostola* Meyrick in Japan with description of two new species of the genus *Thiotricha* Meyrick (Lepidoptera, Gelechiidae) ZooKeys, In press
13. Kitajima Y, Sakamaki Y (2019) Three new species of the genus *Meleonoma* Meyrick (Lepidoptera: Oecophoridae) from Japan Lepidoptera Science, 70:33-46”
14. 菊池陽子, 武内麻矢, 富山清升 (2019) マングローブ干潟におけるヒメカノコガイ *Clithon* (Pictoneritina) *oualaniensis* の生活史 日本生物地理学会誌, 73:89-116
15. 石原尚大, 宗 武彦, 相場慎一郎, 富山清升, 坂井礼子, 重田弘雄 (2019) 奄美大島の異なる標高と地形における植生と陸産貝類相の関係 日本生物地理学会誌, 73:129-148
16. 河合溪 (2019) 奄美研究拠点・島で・島から・島民と学ぶ力ー 『日本ネシア論』別冊, :194-196
17. Uyeno D (2019) Two new species of *Panaetis* (Copepoda: Cyclopoida: Anthessiidae) associated with vetigastropods (Gastropoda) in coastal waters of southern Japan Zootaxa, 4652:135-144
18. 藤田喜久, 上野大輔, 鈴木廣志, 渡久地 健 (2019) 琉球列島と論島における地下水性ヌマエビ類 3 種の記録 Cancer, 28:33-36
19. Titus B M, Benedict C, Laroche R, Gusmo L C, Deusen V V, Chiodo T, Meyer C P, Berumen M L, Bartholomew A, Yanagi K, Reimer J D, Fujii T, Daly M, Rodriguez E (2019) Phylogenetic relationships among the clownfish-hosting sea anemones. Molecular Phylogenetics and Evolution., doi.org/10.1016/j.ympev.2019.106526
20. 田中健太郎, 本郷由軌, 嶋康輝, 藤井琢磨 (2019) トカラ列島の現生サンゴ礁および完新世隆起サンゴ礁の環境調査 自然保護助成基金成果報告書, 自然保護基金設立 25 周年特別記念号:99-112
21. 山名祐介, 小淵正美, 藤井琢磨, 国島大河 (2019) 奄美群島のナマコ相 和歌山県立自然博物館館報, 37:47-73
22. 泉貴人, 藤井琢磨, 柳研介 (2019) 最新のイソギンチャク分類体系の紹介とそれに伴う和名の提唱 タクサ日本動物分類学会誌, 46:55-63
23. 藤田喜久, 藤井琢磨 (2019) 徳之島および沖縄島からのドウクソベンケイガニの初記録 Fauna Ryukyuna, 48:1-3
24. 濱田季之 (2019) 奄美群島の水生物 コラム 3 海の宝探しー海綿からの毒や薬となる化学物質の探索ー, :224-228
25. Hata H, Motomura H (2019) A new species of sardine, *Sardinella electra* (Teleostei: Clupeiformes: Clupeidae), from the Ryukyu Islands, Japan Zootaxa, 4565:274-280
26. Hata H, Motomura H (2019) First records of the perciform fish *Nippon spinosus* from the Satsunan Islands, northern

- Ryukyu Islands, Japan Biological Magazine Okinawa, 57:201-209
27. Cabebe R, Maekawa T, Motomura H (2019) First specimen-based record of *Bodianus leucosticticus* (Perciformes: Labridae) from the Amami Islands, Japan Nature of Kagoshima, 46:129-132
  28. Cabebe RA, Motomura H (2019) Nomeid fishes (Perciformes) from Kagoshima Prefecture, southern Kyushu, Japan Nature of Kagoshima, 46:117-124
  29. Wibowo K, Zaidon SZAM, Motomura H (2019) Records of Banjos banjos banjos (Perciformes: Banjosidae) from Amami-oshima island, Amami Islands, Kagoshima Prefecture, Japan Nature of Kagoshima, 46:125-128
  30. Miki R, Hata H, Motomura H (2019) Records of the barracuda *Sphyaena genie* from Japan, with notes on the taxonomic status of *Sphyaena nigripinnis* (Teleostei: Sphyaenidae) Species Diversity, 24:23-27
  31. Fujiwara K, Motomura H (2019) Revised diagnosis of the rare clingfish *Kopua nuimata* (Gobiesocidae) with notes on fresh coloration and first Australian record Species Diversity, in press
  32. Nakamura, J, P. Barez, Motomura H (2019) *Scolopsis lacrima*, a new species of monocle bream (Teleostei, Perciformes, Nemipteridae) from New Caledonia ZooKeys, 861:119-128
  33. Wibowo K, Motomura H (2019) *Scorpaena dabryi*, a junior synonym of *Scorpaena miostoma*, with notes on morphological ontogenetic changes (Teleostei: Scorpaenidae) Species Diversity, 24:169-177
  34. Bandai A, Matsubara T, Goto R, Hayakawa T, Iwatsuki Y, Motomura H (2019) Sexual dichromatism and dimorphism in the goatfish *Parupeneus spilurus* (Perciformes: Mullidae) in southern Japan Ichthyological Research, doi: 10.1007/s10228-019-00707-8
  35. Fujiwara K, Suzuki T, Motomura H (2019) Two new dwarfgobies (Gobiidae) from southern Japan: *Eviota amamiko* and *Eviota perspicilla* Ichthyological Research, doi: 10.1007/s10228-019-00712-x
  36. Fujiwara K, Motomura H (2019) Validity of *Lepadichthys misakius* (Tanaka 1908) and redescription of *Lepadichthys frenatus* Waite 1904 (Gobiesocidae: Diademichthyinae) Zootaxa, 4551:275-298
  37. Hata H, Motomura H (2019) Validity of *Sardinella dayi* Regan 1917 and redescription of *Sardinella jussieu* (Valenciennes 1847) (Teleostei: Clupeiformes: Clupeidae) Ichthyological Research, in press
  38. Yoshida T, Harazaki S, Motomura H (2019) Yellow-lined Cardinalfish *Ostorhinchus chrysotaenia* (Perciformes: Apogonidae) from Yaku Island, Osumi Islands, first specimen-based Japanese records, with an assessment of the holotype of the species Species Diversity, 24:189-193
  39. 和田英敏, 本村浩之 (2019) チカメタカサゴの日本における成魚 3 個体目の記録 Nature of Kagoshima, 45:193-195
  40. 中村潤平, 本村浩之 (2019) トカラ列島平島から得られたネコサメ Nature of Kagoshima, 45:373-375
  41. 伊藤大介, 本村浩之 (2019) トカラ列島平島から得られた琉球列島近海におけるカガミダイの確かな記録 Nature of Kagoshima, 46:203-206
  42. 川路由人, 瀬能 宏, 武藤望生, 本村浩之 (2019) ハタ科イヅハナダイ属魚類 *Plectranthias longimanus* ムラモジハナダイ(新称), *P. nanus* チビハナダイ, および *P. winniensis* デイゴハナダイ(新称)の日本における記録と分類学的再検討 魚類学雑誌, doi: 10.11369/jil.19/004
  43. 和田英敏, 本村浩之 (2019) モヨウキカイツボの奄美群島からの初めての記録, 本種の国内における分布記録の再検討, および水中写真に基づく *Uropterygius cf. polyspilus* の記録 Nature of Kagoshima, 45:385-390
  44. 是枝伶旺, 前川隆則, 本村浩之 (2019) 奄美群島におけるメカジキの確かな記録 Nature of Kagoshima, 46:189-191
  45. 本村浩之, 萩原清司, 瀬能 宏, 中江雅典(編) (2019) 奄美群島の魚類図鑑, :1-436
  46. 上城拓也, 前川隆則, 本村浩之 (2019) 奄美大島から得られた奄美群島初記録のミカヅキツバメウオ Nature of Kagoshima, 45:377-379
  47. 畑 晴陵, 前川隆則, 本村浩之 (2019) 奄美大島から得られた絶滅危惧種カムリブダイ Nature of Kagoshima, 45:201-205
  48. 上城拓也, 前川隆則, 本村浩之 (2019) 奄美大島から得られた琉球列島初記録の黒褐色を呈するハモ Nature of Kagoshima, 45:367-371
  49. 吉田朋弘, 本村浩之 (2019) 沖永良部島から得られたハタ科魚類ヤマトゲメギスの黄緑色幼魚 Nature of Kagoshima, 45:189-191
  50. 本村浩之, 宮原雄介, 加藤昌一 (2019) 沖縄島で撮影されたマルスベカサゴ(フサカサゴ科: オニカサゴ属) の稚魚 Nature of Kagoshima, 46:167-169
  51. 藤原恭司, 吉田朋弘, 本村浩之 (2019) 屋久島におけるチャイロヤッコ(キンチャクダイ科)の標本に基づく初めての記録 Nature of Kagoshima, 45:217-219
  52. 本村浩之, 原崎 森 (2019) 屋久島初確認のアカオビハナダイ(ハタ科ハナダイ亜科)および明治時代から現在までに屋久島から確認された魚類の総種数 Nature of Kagoshima, 46:211-214
  53. 萬代あゆみ, 小西祐伸, 田中啓介, 本村浩之 (2019) 屋久島初記録のトビウオ科魚類アカトビ Nature of Kagoshima, 45:147-150
  54. 畑 晴陵, 本村浩之 (2019) 笠沙町沖から得られた薩摩半島初記録のニシン科魚類ミズン Nature of Kagoshima, 46:137-142
  55. 古橋龍星, 本村浩之 (2019) 九州沿岸, 種子島, および沖永良部島から初めて記録されたチブルネツタイフサカサゴ Nature of Kagoshima, 46:57-61
  56. 餅田 樹, 森下悟至, 本村浩之 (2019) 九州沿岸初記録のマツバギンポとフタホシニジギンポ Nature of Kagoshima, 45:391-396
  57. 渋谷駿太, 伊東正英, 桜井 雄, 和田英敏, 本村浩之 (2019) 薩摩半島と琉球列島から得られたテルメアジ(アジ科)の記録 日本生物地理学会会報, in press
  58. 萬代あゆみ, 伊東正英, 岩坪洗樹, 本村浩之 (2019) 薩摩半島西岸から得られたヒメジ科魚類 2 種:九州初記録のフタシヒメジと鹿児島県初記録のコハクヒメジ Nature of Kagoshima, 45:249-254
  59. 荒木萌里, 伊東正英, 本村浩之 (2019) 薩摩半島西岸から得られた鹿児島県初記録のホシヨウジと九州沿岸初記録のホノウミヤッコ(ヨウジウオ科: ウミヤッコ属) Nature of Kagoshima, 45:335-339
  60. 中村潤平, 伊東正英, 本村浩之 (2019) 薩摩半島西岸から得られた分布北限記録のシラスイハタ Nature of Kagoshima, 45:221-224
  61. 和田英敏, 伊東正英, 本村浩之 (2019) 薩摩半島西岸から得られた北限記録のオオフエフキ Nature of Kagoshima, 46:53-56

62. 畑 晴陵, 伊東正英, 岩坪洗樹, 本村浩之 (2019) 薩摩半島西岸から得られた北限記録のセイタカヒイラギ *Nature of Kagoshima*, 45:237-241
63. 和田英敏, 伊東正英, 本村浩之 (2019) 薩摩半島南西沖から得られた東シナ海 3 例目のマルカワカジカ *Nature of Kagoshima*, 46:151-154
64. 和田英敏, 伊東正英, 本村浩之 (2019) 薩摩半島南西岸から得られたオオクチイケカツオの日本における 3 個体目の記録およびブリハダムシの新たな宿主事例 *Nature of Kagoshima*, 45:323-327
65. 上城拓也, 平田堅固, 本村浩之 (2019) 薩摩半島南端から得られた標本に基づく九州初記録のキテンハタ *Nature of Kagoshima*, 45:295-296
66. 藤原恭司, 久米 元, 本村浩之 (2019) 鹿児島県から得られたシャチブリ科の稀種ヒョウモンシャチブリ *Nature of Kagoshima*, 46:155-158
67. 和田英敏, 伊東正英, 本村浩之 (2019) 鹿児島県から得られた日本初記録のアジ科魚類 *Trachinotus anak* ヨコヅナマルコバン (新称) 魚類学雑誌, doi: 10.11369/jl.197009
68. 荒木萌里, 日比野友亮, 本村浩之 (2019) 鹿児島県薩摩半島西岸から得られた九州沿岸初記録のタカマユウツボ *Nature of Kagoshima*, 46:49-52
69. 藤原恭司, 鈴木寿之, 本村浩之 (2019) 鹿児島県薩摩半島西岸から得られた九州初記録のハゼ亜目魚類 8 種 *Nature of Kagoshima*, 45:405-410
70. 古橋龍星, 是枝伶旺, 赤池貴大, 本村浩之 (2019) 鹿児島県薩摩半島南岸から得られたミナミサルハゼとカマヒレマツゲハゼの記録 (ハゼ科: サルハゼ属) および両種の生息環境に関する新発見 *Nature of Kagoshima*, 46:81-87
71. 藤原恭司, 本村浩之 (2019) 鹿児島県南さつま市における 2018?2019 年の魚類相調査で得られた九州沿岸初記録の魚類 9 種 *Nature of Kagoshima*, 45:397-403
72. 荒木萌里, 山田彦彦, 本村浩之 (2019) 鹿児島県本土におけるヨウジウオ科魚類タツノイトコの標本に基づく記録 *Nature of Kagoshima*, 46:185-188
73. 吉田朋弘, 高山真由美, 本村浩之 (2019) 種子島から得られたコンゴウテンジクダイおよびスジシモチ属魚類 8 種の標本に基づく記録 *Nature of Kagoshima*, 46:163-166
74. 吉田朋弘, 桜井 雄, 高山真由美, 本村浩之 (2019) 種子島から得られた大隅諸島初記録のカエルアンコウ *Nature of Kagoshima*, 46:181-183
75. 吉田朋弘, 高山真由美, 本村浩之 (2019) 種子島から得られた大隅諸島初記録のサクラダイ *Nature of Kagoshima*, 45:291-294
76. 渋谷駿太, 高山真由美, 本村浩之 (2019) 種子島から得られた琉球列島初記録のクサカリツボダイ *Nature of Kagoshima*, 45:357-360
77. 渋谷駿太, 高久 至, 日比野友亮, 本村浩之 (2019) 水中写真に基づく屋久島初記録のキリアナゴ *Nature of Kagoshima*, 46:207-209
78. 岡本 情, 大富 潤, 本村浩之 (2019) 大隅諸島種子島から得られたアジ科の稀種アンダマンアジ *Nature of Kagoshima*, 45:353-356
79. 畑 晴陵, 本村浩之 (2019) 大隅半島東岸の内之浦湾から得られたキビレヒイラギ (スズキ目: ヒイラギ科) *Nature of Kagoshima*, 46:33-37
80. 畑 晴陵, 山田彦彦, 本村浩之 (2019) 内之浦湾から得られた鹿児島県初記録のオキイワシ *Nature of Kagoshima*, 45:207-210
81. 森下悟至, 本村浩之 (2019) 平島から得られた標本に基づくトカラ列島初記録のヒゲニジギンボ *Nature of Kagoshima*, 45:381-384
82. 森下悟至, 本村浩之 (2019) 有毒魚類ツムギハゼの九州沿岸における標本に基づく初めての記録 *Nature of Kagoshima*, 45:211-215
83. 藤原恭司, 宮本 圭, 本村浩之 (2019) 与那国島から得られた沖縄県初記録のキオビズハナダイ *Nature of Kagoshima*, 45:255-257
84. 小林大純, 内田晃士, 鈴木廣志, 藤田喜久 (2019) 琉球列島のアンキアライン洞窟におけるドウクツヌマエビの新分布記録 *Fauna Ryukyuan*, 51:9?12-9?12
85. Takamiya H, chiaki Katagiri, Shinji Yamasaki, Masaki Fujita (2019) Human Colonization of the Central Ryukyus (Amami and Okinawa Archipelagos), *Japan The Journal of Island and Coastal Archaeology*, 14:375-393
86. 高宮広土 (2019) 先史人類学から見た奄美ネシア 日本ネシア論, :162-164
87. 高宮広土 (2019) 宮之浦遺跡出土の植物遺体 宮之浦発掘調査報告書, :N/A-
88. 高宮広土 (2019) 半川遺跡 (第2次調査) 出土の植物遺体 中山清美と奄美学 中山清美氏追悼論集, :485-492
89. 山本宗立 (2019) 『唐辛子に旅して』,
90. 山本宗立 (2019) 唐辛子を通して考える島々 経由の伝播の可能性『別冊 環 25 日本ネシア論』(長嶋俊介編), :152-154
91. 山本宗立 (2019) 南西諸島の唐辛子一酒や酢との相性一 *Vesta*, 115:48-51
92. 渡辺芳郎 (2019) トカラ列島・小島島の近世陶磁器流通について 中山清美と奄美学—中山清美氏追悼論集, :339-346
93. 栗和田隆 (2020) 奄美大島瀬戸内町清水公園内のコオロギ類の発生消長 *Nature of Kagoshima*, 46:217-219
94. 中村潤平, 本村浩之 (2020) 鹿児島県から得られた日本初記録のエン科魚類 *Saurida undosquamis* ツケアゲエソ (新称) タクサ, in press
95. 山本宗立 (2020 (印刷中)) 香辛料『世界の食文化百科事典』(国立民族学博物館編),
96. Kuriwada T (In press) Escape behaviour of female field crickets is not affected by male attractiveness, but shows consistent patterns within individuals. *Ethology, Ecology & Evolution*,
97. Kuriwada T (In press) Male responses to conspecific and heterospecific songs in two field cricket species *Journal of Ethology*,
98. Takamiya H (印刷中) The Islands of Amami and Okinawa Archipelagos (Japan), where Hunter-Gatherers once Thrived The Future of the Earth: Insights from island civilizations.,
99. Takamiya H (印刷中) Examination of the Southern Route Hypotheses: revisited *Current Issues in Japanese Archaeology*.,
100. Takamiya H (印刷中) Population History of the Tokara Islands. *Tokara Islands*.,
101. 高宮広土 (印刷中) 奄美・沖縄諸島の島々に旧石器時代にヒト (*Homo sapiens*) がいた意義について (仮) 奄美群



島の歴史・文化・社会的多様性。

102. 高宮広土 (印刷中) 大セノ遺跡出土の植物遺体 大セノ嶺発掘調査報告書(仮),
103. 高宮広土 (印刷中) 宮之浦遺跡出土の植物遺体 (2019年度) 宮之浦遺跡発掘調査報告書(仮),
104. 高宮広土 (印刷中) 宇木汲田遺跡出土の植物遺体 宇木汲田遺跡発掘調査報告書,
105. 高宮広土 (2019) 奄美・沖縄諸島 先史時代の特異性 月刊 地球, 482:659-668
106. Watanabe Y (印刷中) Ceramic Distribution in the Tokara Islands in the Early Modern Period The Tokara Islands,
107. 渡辺芳郎 (印刷中) 奄美大島と村津名久焼の基礎的研究 奄美群島の文化・社会・歴史的多様性(仮)

### 5-3.学会発表

平成 28 年度 16 件、29 年度 107 件、30 年度 49 件、令和 1 年度 48 件、合計 220 件の発表を行った。

#### 平成 28 (2016) 年度

1. 川西基博, 鈴木英治, 前田芳之. 加計呂麻島呑之浦の溪畔域に成立する植物群落の種組成と種多様性. 植生学会第 21 回大会
2. 安部真琴, 川西基博. 鹿児島県千貫平における小規模な半自然草地の種多様性. 第 64 回日本生態学会東京大会
3. 川西基博, 大戸優也. 北限メヒルギ群落における 2016 年寒波の影響. 第 64 回日本生態学会東京大会
4. Ikenaga T, Nakamura T, Ineno T, Kiyohara S. Serotonin immunopositive basal cells of taste bud in ray finned fish. 17th International Symposium on Olfaction and Taste
5. Wibowo K, 戸田実, 本村浩之. Identifications of nominal species previously synonymized under *Abudefduf vaigiensis* (Quoy and Gaimard, 1824) (Pomacentridae). 第 49 回日本魚類学会年会
6. 稲葉智樹, 本村浩之. オニオコゼ科 *Inimicus joubini* は *I. japonicus* の新参異名: セトオニオコゼはオニオコゼの種内変異. 第 49 回日本魚類学会年会
7. 吉田朋弘, 本村浩之. 南西諸島から得られたコミナトテンジクダイ属の 1 日本未記録種と 1 未記載種. 第 49 回日本魚類学会年会
8. 松沼瑞樹, 本村浩之. フサカサゴ科ヒメヤマノカミ属の 2 未記載種. 第 49 回日本魚類学会年会
9. 川間公達, 瀬能 宏, 本村浩之. 日本産イソギンボ科タマカエルウオ属魚類の分類学的研究. 第 49 回日本魚類学会年会
10. 中江雅典, 瀬能 宏, 萩原清司, 本村浩之, 横山貞夫, 山川 武, 篠原現人, 松浦啓一. 奄美大島および周辺海域の魚類学研究史と浅海性魚類相 (予報). 第 52 回日本動物分類学会大会
11. 藤原恭司, 本村浩之. 鹿児島県宇治群島から得られたウバウオ科ミサキウバウオ属の 1 未記載種. 第 49 回日本魚類学会年会
12. 畑 晴陵, Babaran R, 本村浩之. カタクチイワシ科ヤエヤマアイノコイワシに適用すべき学名およびフィリピンから得られた 1 未記載種. 第 49 回日本魚類学会年会
13. Yamamoto S. Use of chili peppers in the Nansei Islands. 12th International Small Islands Cultures Conference (ISIC 12)
14. 山本宗立. 唐辛子の特産品としての可能性. 第 1 回島嶼産業研究会
15. 渡辺芳郎. 17 世紀における薩摩焼製陶技術の琉球陶器への影響. 2016 年度沖縄考古学会研究発表会
16. 渡辺芳郎. 薩摩焼陶工は琉球にどのような製陶技術を伝えたか? 国際シンポジウム「移動する人と技術—東アジア窯業技術の伝播と定着—」

#### 平成 29 (2017) 年度

1. 相場慎一郎, 永田貴文, 鈴木英治. 奄美群島の山地照葉樹林の組成と構造. 第 27 回日本熱帯生態学会年次大会
2. 川西基博, 横田圭祐, 安田真悟. 奄美大島の河川下流域における帰化植物の定着状況. 植生学会第 22 回大会
3. 鈴木英治, 宮本旬子. 南西諸島における植物相の島嶼間類似度. 日本生態学会
4. 山本雅史, 西口奈月. 奄美群島在来カンキツ類の果実特性. 園芸学会
5. 新小田あづさ, 瀬戸口智春, 朴 炳宰, 志水勝好, 遠城道雄, 北原兼文. ダイジョとナガイモにおける粘度の比較. 日本熱帯農業学会
6. 川西基博, 横田圭祐, 安田真悟. 奄美大島の河川下流域における帰化植物の定着状況. 植生学会第 22 回大会
7. 大塚靖. 奄美大島におけるブユの季節消長と日中活動の人囃法による調査. 日本衛生動物学会
8. Kuriwada T. Same-sex sexual behavior mitigates male-male competition in the field cricket. 個体群生態学会
9. 大窪和理, 富山清升. ヤマトニシ属の個体群間変異の殻形質に基づく分析. 日本生態学会
10. 大窪和理, 富山清升. ヤマトニシ属の個体群間変異の殻形質に基づく分析. 日本生態学会
11. 田島伸吾, 山本恭平, 栗和田隆. 体サイズの大きく異なるコオロギ 2 種の競争関係. 日本生態学会
12. 濱田峻徳, 栗和田隆. 同時的雌雄同体生物であるサカマキガイの性役割と捕食回避行動との関係. 日本生態学会第 64 回大会
13. 鈴木真理子, 大海昌平. 奄美大島におけるアマミノクロウサギの巣穴利用について. 京都大学野生動物研究センター共同利用研究会
14. 鈴木真理子, 大海昌平. 農地におけるアマミノクロウサギの繁殖に関する事例報告. 日本哺乳類学会
15. 池永隆徳, 辻美奈希, 中村達史, 清原貞夫. 魚類の味蕾におけるセロトニン免疫陽性細胞の形態と分布. 第 12

回水生動物の行動と神経系シンポジウム

16. Kawai K. The Biology and Ecology of Shellfish Inhabiting a Tidal Flat in Sumiyo, Amami Oshima Island, Japan.. Islands of the WorldX V.
17. Kawai K. Biodiversity of mollusks and utilization of human resources in the Amami Islands.. 第5回東アジア島嶼海洋文化フォーラム2017
18. Kawai K. The Biology and Ecology of Shellfish Inhabiting a Tidal Flat in Sumiyo, Amami Oshima Island, Japan.. Islands of the WorldX V
19. Kawai K. Research and Education Activities by Kagoshima University International Center for Island Studies. Saba University Malaysia 講演会
20. Kawai K. Biodiversity of mollusks and utilization of human resources in the Amami Islands.. 東アジア島嶼海洋文化フォーラム
21. 河合溪 海産巻貝ウミウサギガイの繁殖行動とその後.. 第9回遺伝子の窓研究会
22. 河合溪 奄美大島住用干潟における海産巻貝の生活史と環境に関する研究. 日本島嶼学会甌島大会
23. 河合溪 奄美大島住用干潟における海産巻貝の生活史と環境に関する研究. 日本島嶼学会甌島大会
24. 久米元 リュウキュウアユの初期生活史と摂餌生態. 日本生態学会
25. 中田あずみ, 川上達也, 安藤恵美子, 米沢俊彦, 久米 元. 奄美大島の川内川河口域におけるリュウキュウアユ仔稚魚の成長. 日本魚類学会
26. 中野寛, 小針統, 山口敦子, 久米元. 奄美大島におけるリュウキュウアユと同所的に生息する魚類の食性. 日本魚類学会
27. Kan K, Ibrahim NF, Ibrahim YS, Tosuji H, Sato M. Namalycastis spp. (Nereididae, Annelida) living within the decaying plants in estuaries in Malaysia and southern Japan. . The 3rd Asian Marine Biology Symposium 2017
28. Sakaguchi T, Tosuji H, Park T-S, Hsieh H-L, Glasby C, Sato M. Distributions of four species of the Perinereis nuntia species group (Nereididae: Annelida) in Japan, with special reference to the paragnath morphology variable due to the individual growth in P. shikueii.. The 3rd Asian Marine Biology Symposium 2017
29. Fukumoto R, Borlongan IA, Nishihara GN, Endo H, Terada R.. Comparison of the photosynthetic responses to temperature and irradiance of two edible brown algae, Cladosiphon okamuranus from Amami Islands and Cladosiphon umezakii from Takeno, Honshu Island, Japan. 8th Asian Wetland Symposium 2017
30. Fukumoto R, Nishihara GN, Endo H, Terada R. . The photosynthetic responses to temperature and irradiance on two life history stages of a brown alga, Cladosiphon okamuranus from Ryukyu Islands, Japan. International Symposium “Fisheries Science for future generations” The Japanese Society of Fisheries Science
31. Shimada N, Nishihara G N, Endo H, Terada R. The effect of irradiance and temperature on the photosynthesis of a tropical seagrass, Halodule uninervis (Cymodoceaceae) from Amami-Oshima Island, Ryukyu Archipelago, Japan. International Symposium “Fisheries Science for future generations” The Japanese Society of Fisheries Science
32. 島田菜摘, Nishihara GN, 遠藤光, 寺田竜太. 光合成のストレス応答から探る奄美大島産熱帯性海草北限個体群の地域的特異性の検討. 平成29年度日本水産学会九州支部大会
33. 島田菜摘, Nishihara GN, 遠藤光, 寺田竜太. 奄美大島に生育する熱帯性海草北限個体群の光合成に対する光と温度の影響. 日本生態学会
34. Fujiwara K, Hayashi H, Motomura H. An undescribed species of the genus Pherallodichthys (Gobiesocidae) from southern Japan. The 10th Indo-Pacific Fish Conference
35. Fujiwara K, Hayashi H, Motomura H. An undescribed species of the genus Pherallodichthys (Gobiesocidae) from southern Japan. The 10th Indo-Pacific Fish Conference
36. Fukui Y, Motomura H. Two undescribed species of the genus Iniistius (Labridae) from Australia and the Philippines. The 10th Indo-Pacific Fish Conference
37. Hata H, Motomura H. Taxonomic status of five nominal species in the genus Stolephorus (Clupeiformes: Engraulidae). The 10th Indo-Pacific Fish Conference
38. Hata H, Motomura H. Taxonomic status of five nominal species in the genus Stolephorus (Clupeiformes: Engraulidae). The 10th Indo-Pacific Fish Conference
39. Hata H, Motomura H. An undescribed species of the anchovy genus Stolephorus (Clupeiformes: Engraulidae) from Southeast Asia. The Annual Meeting of the Asian Society of Ichthyologists
40. Koeda K, Motomura H. Sweepers (Teleostei: Perciformes: Pempheridae) in the Ogasawara Islands, Japan, with an undescribed species of the genus Pempheris. The Annual Meeting of the Asian Society of Ichthyologists
41. Matsunuma M, Motomura H. Review of the Indo-West Pacific genus Parapterois (Scorpaenidae: Pteroinae). The 10th Indo-Pacific Fish Conference
42. Miki R, Murase A, Wada M, Koeda K, Hoshino K, Motomura H, Senou H. Tropical marine fish aggregations along the eastern coast of Kyushu, Japan, northwestern Pacific Ocean, with an assessment of influence of the Kuroshio Current. The Annual Meeting of the Asian Society of Ichthyologists
43. Motomura, H. H. Senou. The Osumi Line: a newly recognized major biogeographical boundary line for fishes in southern Japan. The 10th Indo-Pacific Fish Conference
44. Muto N, Kakioka R, Vilasri V, Babaran R, Alama U, Nguyen VQ, Ghaffar MA, Takeshima H, Muto F, Motomura H, Ishikawa S. Comparative phylogeography of fishes in the South China Sea. The 10th Indo-Pacific Fish Conference
45. Tashiro S, Motomura H. Review of the triplefin genus Helcogramma (Tripterygiidae) in Japanese waters with two undescribed species. The 10th Indo-Pacific Fish Conference
46. Wibowo K, Toda M, Harazaki S, Motomura H. Taxonomic and ecological studies on Abudedefduf caudobimaculatus and

- Abudefduf vaiigiensis (Perciformes: Pomacentridae). The 10th Indo-Pacific Fish Conference
47. Yoshida T, Muto N, Motomura H. Taxonomic review of the cardinalfish genus *Apogon* (Apogonidae) in Japan. The 10th Indo-Pacific Fish Conference
  48. Yoshida T, Muto N, Motomura H. Taxonomic review of the cardinalfish genus *Apogon* (Apogonidae) in Japan. The 10th Indo-Pacific Fish Conference
  49. 稲葉智樹, 本村浩之. オニオコゼ科オニオコゼ属の分類学的再検討. 第 50 回日本魚類学会年会
  50. 栗岩 薫, 吉田朋弘, 田代郷国, 本村浩之, 瀬能 宏. 日本最後の秘境 ～ 火山列島 (北硫黄島・硫黄島・南硫黄島) の魚類相と生物地理. 第 50 回日本魚類学会年会
  51. 栗岩 薫, 吉田朋弘, 田代郷国, 本村浩之, 瀬能 宏. 日本最後の秘境 ～ 火山列島 (北硫黄島・硫黄島・南硫黄島) の魚類相と生物地理. 第 50 回日本魚類学会年会
  52. 松沼瑞樹, 福井美乃, Alama UB, 本村浩之. 北西太平洋におけるイトウダイ科エビスダイ類似種群の分類学的再検討. 第 50 回日本魚類学会年会
  53. 上城拓也, 瀬能 宏, 本村浩之. 東シナ海とフィリピンから得られたチョウチョウオ科ゲンロクダイ属の 1 未記載種. 第 50 回日本魚類学会年会
  54. 川間公達, 瀬能 宏, 武藤望生, 本村浩之. イソギンボ科タマカエルウオ属魚類ヤセタマカエルウオ *Alticus orientalis* Tomiyama, 1955 の有効性. 第 50 回日本魚類学会年会
  55. 川間公達, 瀬能 宏, 武藤望生, 本村浩之. イソギンボ科タマカエルウオ属魚類ヤセタマカエルウオ *Alticus orientalis* Tomiyama, 1955 の有効性. 第 50 回日本魚類学会年会
  56. 中村潤平, 本村浩之. イトヨリダイ科魚類メガネタマガシラ *Scolopsis taenioptera* に認められた形態的二型. 第 50 回日本魚類学会年会
  57. 中村潤平, 本村浩之. イトヨリダイ科魚類メガネタマガシラ *Scolopsis taenioptera* に認められた形態的二型. 第 50 回日本魚類学会年会
  58. 田代郷国, 本村浩之. 西太平洋におけるヘビギンボ科クロマスキ *Helcogramma fuscipictoris* 類似種群の分類学的再検討. 第 50 回日本魚類学会年会
  59. 藤原恭司, 岡本 誠, 本村浩之. 日本産ウバウオ科ヨザクラウバウオ属の分類学的再検討. 第 50 回日本魚類学会年会
  60. 藤原恭司, 岡本 誠, 本村浩之. 日本産ウバウオ科ヨザクラウバウオ属の分類学的再検討. 第 50 回日本魚類学会年会
  61. 藤原恭司, 田代郷国, 高山真由美, 瀬能 宏, 本村浩之. ハタ科イズハナダイ属魚類 *Plectranthias sheni* の日本からの記録と適用すべき標準和名の検討. 日本動物分類学会第 53 回大会
  62. 藤原恭司, 田代郷国, 高山真由美, 瀬能 宏, 本村浩之. ハタ科イズハナダイ属魚類 *Plectranthias sheni* の日本からの記録と適用すべき標準和名の検討. 日本動物分類学会第 53 回大会
  63. 畑 晴陵, 本村浩之. ニシン科オグロイワシ類似種群の分類学的再検討. 第 50 回日本魚類学会年会
  64. 畑 晴陵, 本村浩之. ニシン科オグロイワシ類似種群の分類学的再検討. 第 50 回日本魚類学会年会
  65. 武藤望生, 柿岡 諒, Vilasri V, Babaran RP, Alama UB, Van Quan N, Ghaffar MA, 武藤文人, 本村浩之, 武島弘彦, 石川智士. 南シナ海における魚類の比較系統地理. 第 50 回日本魚類学会年会
  66. 本村浩之, 松沼瑞樹, Manjaji-Matsumoto BM, Arshad A, Ghaffar MA, Seah YG. マレーシアにおける現地と連携した魚類多様性調査. 第 50 回日本魚類学会年会
  67. 萬代あゆみ, 松沼瑞樹, 本村浩之. 日本初記録のヤマトシビレイ科魚類 *Tetronarce formosa*. 第 50 回日本魚類学会年会
  68. 萬代あゆみ, 松沼瑞樹, 本村浩之. 日本初記録のヤマトシビレイ科魚類 *Tetronarce formosa*. 第 50 回日本魚類学会年会
  69. Fujii R, Ueno R, Yamamoto T. Reproductive characteristics of rare species *Lingula anatina* in tidal flats of Amami-Oshima Island. The 3rd Asian Marine Biology Symposium
  70. Fujii R, Ueno R, Yamamoto T. Reproductive characteristic of *Lingula anatina* in tidal flats of Amami-Oshima. Society for Coastal Ecosystem Studies -Asia Pacific.
  71. Ueno R, Sato M, Yamamoto T. Seasonal change in population structure of *Simplisetia erythraeensis* at two tidal flat in southern Kyushu, Japan. The 3rd Asian Marine Biology Symposium
  72. Ueno R, Sato M, Yamamoto T. Seasonal change in population structure of wide distributed species, *Simplisetia erythraeensis*. Society for Coastal Ecosystem Studies -Asia Pacific
  73. Kawase T, Shirasawa H, Yamamoto T. Effect of simultaneous defoliation of mangrove on benthic animals and their habitat conditions. The 3rd Asian Marine Biology Symposium
  74. Kawase T, Shirasawa H, Yamamoto T. Recovery process of a defoliated mangrove forest and change of habitat condition of benthic animal community. Society for Coastal Ecosystem Studies -Asia Pacific
  75. 山本智子, 川瀬智博, 白澤大樹, 大西雄二, 山中寿郎. 北限のマングローブ林における樹冠の役割; 一斉落葉が底生生物とその生息環境に与えた影響. 日本生態学会
  76. 小枝圭太, 藤井琢磨, 本村浩之. 奄美大島から採集されたチンアナゴ属の 1 未記載種. 第 50 回日本魚類学会年会
  77. 前田 和人, 鬼束 聡明, 濱田 季之, 岡村 浩昭. Hyptoside の全合成および天然 dihydronaphthalenelignan 類の構造訂正. 第 61 回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会
  78. 藤井琢磨. 大島海峡より得られたアミトリセンベイスンゴの北限記録および新たな分類形質について. 日本造礁サンゴ分類研究会調査会
  79. 藤井琢磨. トカラ列島の現生および化石サンゴ礁生物が囁く火山とサンゴ礁の魅力. 日本サンゴ礁学会第 20

### 回大会自由集会①

80. 藤井琢磨, Maria Eduarda Alves dos Santos, Reimer JD. 琉球列島内湾浅海域から得られたヤギ類を覆うスナギンチャクについて. 日本動物分類学会第 53 回大会
81. 藤井琢磨, 上野大輔, 穂立ころ. 奄美大島大浜海岸イシサンゴ群集における 2016 年度の白化状況. 第 27 回日本熱帯生態学会年次大会
82. 藤井琢磨, 立川浩之, 横地洋之. 奄美大島周辺海域におけるアミトリセンバイサンゴの分布北限記録と砂泥底生生物群集の特異性について. 日本サンゴ礁学会第 20 回大会
83. 藤井琢磨, 立川浩之, 横地洋之. 奄美大島周辺海域におけるアミトリセンバイサンゴの分布北限記録と砂泥底生生物群集の特異性について. 日本サンゴ礁学会第 20 回大会
84. 柳研介, 藤井琢磨, 磯村尚子, James Davis Reimer. クマノミの住んでいるイソギンチャクは何もの?. 第 13 回日本刺胞・有櫛動物研究談話会
85. 早崎 真美, 山下 慧介, 北原 ひろみ, 仮屋崎 綾, 鬼束 聡明, 岡村 浩昭, 濱田 季之. 喜界島産柑橘の果皮に含まれる香気成分. 香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会
86. 濱田 季之. 植物からの医薬品リード化合物の探索. 第 52 回植物化学調節学会
87. 濱田 季之. 植物からの医薬品リード化合物の探索. 第 52 回植物化学調節学会
88. Takamiya H. Modern Human (*Homo sapiens*) and island environments during the prehistoric times, focusing on the Amami and Okinawa Archipelagos, Japan (招待講演). 総合研究大学院大学
89. Takamiya H, M. Hudson, Katagiri C, Yamasaki S. The colonization of the Southern Ryukyu Islands, Japan (招待講演). 82nd Society for American Archaeology
90. 高宮広土. 奄美・沖縄諸島の先史原史時代 (招待講演). 放送大学鹿児島学習センター公開講座
91. 高宮広土. 貝塚時代 (約 6000 年前~1000 年前の話) 招待講演. 奄美・沖縄こども環境調査隊交流事業事後学習①「奄美の環境調査研究の実態」
92. 高宮広土. 琉球列島先史時代の独自性: 3 万年前にヒトが住んでいた徳之島 (琉球列島)・狩猟採集民のいた島、徳之島 (奄美・沖縄諸島) (招待講演). 島学 (徳之島町文化会館、NPO 虹の会)
93. 高宮広土. 奄美こども環境調査隊シンポジウム~これから私たちができること~まとめ (招待講演). 奄美こども環境調査隊活動報告・シンポジウム
94. 新里亮人・高宮広土. 徳之島の遺跡 (招待講演). 徳之島 虹の会 エコツアーガイド講習会
95. 高宮広土. 世界自然遺産と同等の価値がある (?) 奄美・沖縄諸島の先史時代 (招待講演). 同志社大学・鹿児島大学国際島嶼教育研究センター奄美分室合同セミナー
96. 高宮広土. 奇跡の島々 (?): 先史時代の奄美・沖縄諸島 (招待講演). 奄美ならではの学会. 鹿児島県立奄美図書館
97. 高宮広土. 世界に誇れる先史時代の奄美・沖縄諸島 (招待講演). 平成 29 年度三町文化財保護審議委員会連絡協議会定例会
98. Takamiya H. Island Archaeology in East Asian Perspectives: Discussant (招待講演). 82nd Society for American Archaeology
99. 高宮広土. 奄美・沖縄諸島先史・原史時代における植物利用 (招待講演). 日本熱帯全体学会 27 回定例総会
100. 高宮広土. シンポジウム「奄美・沖縄のヒトと自然の歴史」(オーガナイザー). 日本熱帯全体学会 27 回定例総会
101. 高宮広土. 奄美・沖縄諸島先史時代の独自性. 2017 年次日本島嶼学会奄美大会
102. Evangelia P, Kuwahara S. Mapping the communicative ecology of the Amami Islands. RETI
103. 桑原季雄. 島嶼の過疎化と社会組織. 日本島嶼学会
104. 桑原季雄, 宋多情. 奄美群島におけるエコツーリズムの現状と課題ー奄美大島と徳之島の事例を中心にー. 第 5 回東アジア島嶼海洋文化フォーラム
105. 桑原季雄, 宋多情. 奄美群島におけるエコツーリズムの現状と課題ー奄美大島と徳之島の事例を中心にー. 東アジア島嶼海洋文化フォーラム
106. 高津 孝. 富士川流域の分類目録化について. 汎アジア科学文化班研究会
107. 宋多情. 徳之島エコツーリズムの現状と課題. 2017 年次日本島嶼学会奄美大会

### 平成 30 (2018) 年度

1. 森岡真弥, 川西基博, 田中郁弥. 沖永良部島の河川における植物群落の分布パターンと種多様性. 植生学会第 23 回大会
2. 谷 佳那美, 香西直子, 山本雅史. CAPS 分析による鹿児島島嶼在来カンキツ類の類縁関係の解明. 園芸学会
3. 田金秀一, 鈴木英治. 鹿児島大学総合研究博物館の植物標本庫 (KAG) の紹介. 日本植物分類学会
4. Kuriwada T. Social isolation facilitates male aggressiveness to females in the cricket. International Congress of Orthopterology
5. 奥尉平, 坂巻祥孝, 屋宜禎央. 日本産 *Nosphistica* 属 1 新種の記載 (キバガ上科、ヒゲナガキバガ科). 日本鱗翅学会
6. 河口真奈美, 栗和田隆. 捕食者によってもたらされるサカマキガイの産卵行動の変化は適応的なのか?. 日本動物行動学会第 37 回大会
7. 栗和田隆. コオロギのオスは他種の鳴き声を盗聴して行動を変化させるか?. 日本動物行動学会第 35 回大会
8. 川崎琳太郎, 桑野晃史, 栗和田隆. コオロギにおける異種の信号による音響コミュニケーションの阻害. 日本生態学会
9. 棚瀬光, 坂巻祥孝, 津田勝男. 昆虫病原性線虫剤 *Steinernema carpocapsae* によるカンキツのゴマダラカミキリ幼

- 虫の防除 九州・沖縄昆虫研究会
10. 北島裕紀, 坂巻孝幸. 日本産 *Meleonomia* 属 2 新種の記載と日本初記録種(キバガ上科, マルハキバガ科). 日本鱗翅学会
  11. 大塚靖. 奄美大島におけるブユ幼虫の季節消長. 第 70 回日本衛生動物学会
  12. 河合溪. 薩南諸島における人と自然の共存. 国立科学博物館総合研究「黒潮」勉強会
  13. Chungthanawong S, Motomura H. Two undescribed species of the waspfish genus *Ablabys* (Scorpaeniformes: Tetrarogidae) from the western Pacific Ocean. 第 51 回日本魚類学会年会
  14. Fujiwara K, Motomura H. Review of the clingfish genus *Lepadichthys* (Gobiesocidae: Diademichthyinae) in Japan. 2018 Annual Conference of the Asian Society of Ichthyologists
  15. Wada H, Kai Y, Motomura H. Taxonomic review of the genus *Setarches* (Setarchidae) in East Asia. 2018 Annual Conference of the Asian Society of Ichthyologists
  16. 吉田朋弘, 本村浩之. テンジクダイ科クダリボウズギス属魚類 *Gymnapogon foraminosus* の有効性. 第 51 回日本魚類学会年会
  17. 荒木萌里, 渋川浩一, 本村浩之. 沖縄県西表島から得られたヨウジウオ科オクヨウジ属の 1 未記載種. 第 51 回日本魚類学会年会
  18. 松沼瑞樹, 本村浩之. オニオコゼ科ヒメオコゼ属の 3 未記載種. 日本動物分類学会第 54 回大会
  19. 上城拓也, K. Wibowo, 本村浩之. スズメダイ科オヤビッチャ属魚類 *Abudefduf nigrimargo* の日本からの初めての記録. 日本動物分類学会第 54 回大会
  20. 森下悟至, 本村浩之. ヤマトカマスとオオヤマトカマスは未記載種. 第 51 回日本魚類学会年会
  21. 中村潤平, 本村浩之. 鹿児島県におけるマハタ属魚類 *Epinephelus* の種多様性と分布. 第 51 回日本魚類学会年会
  22. 田代郷国, 本村浩之. ヘビギンボ科ベニモンヘビギンボ *Helcogramma ishigakiensis* 類似種群の分類学的再検討. 第 51 回日本魚類学会年会
  23. 藤原恭司, 本村浩之. ウバウオ科メシマウバウオ属の分類学的再検討. 第 51 回日本魚類学会年会
  24. 畑 晴陵, 本村浩之. ニシン科サツパ属 *Sardinella hualiensis* 類似種群の分類学的再検討. 第 51 回日本魚類学会年会
  25. 畑 晴陵, 本村浩之. 西太平洋から得られたニシン科サツパ属魚類の 2 未記載種. 日本動物分類学会第 54 回大会
  26. 北野裕子, 藤井琢磨, 奥裕太郎, 野村恵一, 立川浩之, 深見裕伸. 日本産の旧ナガレハナサンゴ属の分子系統解析. 日本サンゴ礁学会第 21 回大会
  27. 和田英敏, 瀬能 宏, 宮本 圭, 本村浩之. 日本近海から得られたハタ科イヅハナダイ属の色彩多型. 日本動物分類学会第 54 回大会
  28. 萬代あゆみ, 松原孝博, 後藤理恵, 岩槻幸雄, 本村浩之. ヒメジ科オキナヒメジ *Parupeneus spilurus* の色彩と形態における性的二型. 第 51 回日本魚類学会年会
  29. Fujii T, Kumagai KN. Outbreak of the “black disease” cyanobacterial sponge *Terpios hoshinota* at Amamioshima Island, Japan. The 1st Maluku International Conference on Marine Science and Technology
  30. Fujii T, Kumagai KN. The coral killing sponge *Terpios hoshinota* at Amamioshima Island, the northernmost outbreak. 4th Asia Pacific Coral Reef Symposium
  31. Kitano YF, Fujii T, Oku Y, Nomura K, Tachikawa H, Fukami H. Molecular phylogeny and morphological variation of *Euphyllia ancora*. 4th Asia Pacific Coral Reef Symposium
  32. 藤井琢磨. 奄美大島沿岸で見つかった最北限となるサンゴ被覆性海綿テルピオスの大増殖. ?2018 年度喜界島国際サンゴ礁科学シンポジウム
  33. 藤井琢磨. 奄美のサンゴ群集とその周辺で見られる多様な生き物たち. 水産無脊椎動物研究所 30 周年記念シンポジウム
  34. 藤井琢磨. トカラ列島で見つかった未記載スナギンチャク類について. 第 14 回日本刺胞・有櫛動物研究談話会
  35. 藤井琢磨. トカラ列島で発見されたヤドリスナギンチャク科の 1 種. 日本動物分類学会第 54 回大会
  36. 藤井琢磨, 熊谷直喜. ?奄美大島志戸勘海岸における有藻性サンゴ類被覆性海綿の被覆状況について. 日本サンゴ礁学会第 21 回大会
  37. 小林 和史, 鬼束 聡明, 岡村 浩昭, 谷 文都, 濱田 季之. 紅藻ハナヤナギ由来の成人 T 細胞白血病治療薬リード化合物の探索. 第 62 回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会
  38. 濱田 季之. 鹿児島県産紅藻ハナヤナギ由来の成人 T 細胞白血病(ATL)治療薬リード化合物の探索. 第 32 回海洋生物活性談話会
  39. 高宮広土. 植物遺体からみた「海上の道」仮説. 第 84 回 (2018 年度) 日本考古学協会総会
  40. 高宮広土. 奄美・沖縄諸島先史時代の独自性. 2. 2018 年次日本島嶼学会東京大会
  41. 高宮広土. 狩猟・採集・漁撈民のいた島, 奄美・沖縄諸島. 沖縄文化協会 2018 年度第 3 回東京公開研究発表会
  42. 高宮広土・宮本一夫. 宇木汲田遺跡における植物食利用. 第 72 回日本人類学会大会
  43. 高宮広土. 奄美・沖縄における先史時代人の食性 (招待講演). 東南アジア考古学会 2018 年度大会・総会
  44. Takamiya H. The Islands of Amami and Okinawa where hunter-gatherers once thrived (招待講演). The 3rd International Symposium in Sizuoka Prefecture, hosted by fujimu and Mt. Fuji WHC
  45. 高宮広土. 狩猟採集民の暮らした島 (招待講演). 奄美大島調査報告講演会 (沖縄国際大学主催)
  46. Yamamoto S. Medicinal Usage of Chili Peppers in the Amami Islands, Japan. The 6th East Asian Island and Ocean Forum (EAIOf)

47. 山本宗立, 奄美群島におけるトウガラシ属植物の葉としての利用について, 日本熱帯農業学会第124回講演会
48. 宋多情, 奄美・沖縄の世界自然遺産登録延期勧告と現時点での課題 ―奄美大島の事例を中心に, 2018 年次日本島嶼学会飯島大会"
49. 渡辺芳郎, 近世陶磁器からみた九州と南西諸島, シンポジウム: 九州-沖縄におけるコトバとヒト・モノの移動

## 令和1 (2019) 年度

1. 岩元鈴夏, 川西基博, 鹿児島市喜入地区におけるハマサジ個体群の分布と動態, 植生学会第24回大会
2. 遠城道雄, ヤムイモ3種における総ポリフェノール含量と抗酸化活性および $\alpha$ -アミラーゼ活性の比較, 日本熱帯農業学会124回講演会
3. 吉良友祐, 相場 慎一郎, 下西 聡一郎, 永田 貴文, 石貫 泰三, 脇山 成二, 鈴木 英治, 毎木調査区データに基づく奄美群島・屋久島および九州南部の原生的森林の比較, 日本生態学会
4. 栗和田隆, 富田友樹, 新留勢久, 都市に生息するマダラスズは捕食リスクと警戒性が低い, 日本動物行動学会
5. 大塚靖, 鹿児島県中之島の秋季におけるブユ対策について, 第71回日本衛生動物学会
6. 大塚靖, Black fly control in Nakanoshima-Island, Kagoshima Prefecture, Japan, 第7回東アジア島嶼海洋文化フォーラム
7. 河合 溪, 藤木利之, 太平洋島嶼潮間帯に生息する巻貝の殻色多様性に関する研究, 日本貝類学会
8. Chungthanawong S, Motomura H. Review of the waspfish genus *Neocentropogon* (Tetrarogidae), 第52回日本魚類学会年会
9. Delloro ES Jr, Motomura H, Babaran RP. Sexual dimorphism in the Spotted Stinger *Inimicus sinensis* (Valenciennes, 1833) and notes on pore structures on the body, 第52回日本魚類学会年会
10. Fujiwara K, Motomura H. Two undescribed species of the genus *Lepadichthys* (Gobiesocidae) from southern Japan and the Pitcairn Islands. Joint Meeting of Ichthyologists and Herpetologists (American Society of Ichthyologists and Herpetologists)
11. Fujiwara K, Suzuki T, Motomura H. Two undescribed species of the genus *Eviota* (Gobiidae) from southern Japan. The 16th European Congress of Ichthyology
12. Okamoto Jm Motomura H. An undescribed species of the genus *Brachirus* (Soleidae) from Japan, Taiwan, and the Philippines. The 16th European Congress of Ichthyology
13. Wada H, Kai Y, Motomura H. Validity of the deepsea scorpionfish genus *Lythrichthys*, previously regarded as a junior synonym of *Setarches* (Setarchidae), 2019 Annual Conference of the Asian Society of Ichthyologists
14. Wibowo K, Motomura H. Taxonomic status of seven nominal species of the genera *Scorpaena* and *Scorpaenopsella* (Teleostei: Scorpaenidae), 2019 Annual Conference of the Asian Society of Ichthyologists
15. Wibowo K, Motomura H. An undescribed species of the genus *Scorpaena* (Teleostei: Scorpaenidae) from the east coast of Queensland, Australia, 第52回日本魚類学会年会
16. 伊藤大介, 本村浩之, 飯島列島の魚類相, 第52回日本魚類学会年会
17. 岡本 情, 本村浩之, 日本産ササウシノシタ科ミナシマウシノシタ属の分類学的再検討, 第52回日本魚類学会年会
18. 吉田朋弘, 武藤望生, 本村浩之, *Asperapogon* 属の有効性と1未記載属を含むコミナトテンジクダイ属の形態学的再定義 (スズキ目: テンジクダイ科), 第52回日本魚類学会年会
19. 荒木萌里, 本村浩之, ヨウジウオ科オクヨウジウ属の分類学的再検討, 第52回日本魚類学会年会
20. 出羽優風, 桜井 雄, 中村潤平, 本村浩之, 沖縄県から得られた標本に基づく日本初記録のベラ科魚類 *Oxycheilinus arenatus*, 第52回日本魚類学会年会
21. 森下悟至, 本村浩之, カマス科魚類 *Sphyræna novaehollandiae* 類似種群の分類学的再検討, 第52回日本魚類学会年会
22. 星野和夫, 大澤洋太, 本村浩之, フサカサゴ科マメサンゴカサゴ類似種群の分類学的再検討, 第52回日本魚類学会年会
23. 泉 幸乃, 遠藤広光, 本村浩之, 鹿児島県与論島および台湾から得られたチゴダラ科チゴダラ属の1未記載種, 第52回日本魚類学会年会
24. 中村潤平, 本村浩之, ホウセキハタ *Epinephelus chlorostigma* 類似種群の分類学的再検討, 第52回日本魚類学会年会
25. 藤原恭司, 本村浩之, ウバウオ科アンコウウバウオ属の分類学的再検討, 第52回日本魚類学会年会
26. 武藤望生, 柿岡 諒, 本村浩之, 武藤文人, 武島弘彦, 石川智士, Phylogeographic Concordance Factors による系統地理パターンの定量比較, 第52回日本魚類学会年会
27. 堀内大敬, 甲斐嘉晃, 本村浩之, ハオコゼ科ハチオコゼに確認された形態的二型, 第52回日本魚類学会年会
28. 本村浩之, 琉球列島の海産魚類の多様性, 2019年度日本魚類学会 市民公開講座
29. 和田英敏, 甲斐嘉晃, 本村浩之, シロカサゴ科シロカサゴ属魚類 *Setarches guentheri* の新参異名とされていた *S. fidjiensis* の有効性, 第52回日本魚類学会年会
30. 泉貴人, 藤井琢磨, 柳研介, 藤田敏彦, 熊野灘から得られたヨツバカワリギンチャク—100年越しの標本で、分類の混乱に終止符を！, 日本動物学会第90回大会
31. 泉貴人, 藤井琢磨, 柳研介, 侃侃諤諤 〜イソギンチャク分類体系の和名提唱〜, 第15回日本刺胞・有櫛動物研究談話会
32. 泉貴人, 藤井琢磨, 柳 研介, 藤田敏彦, ヤツバカワリギンチャク科 *Synactinermis* 属 (変型イソギンチャク亜目) の再定義と, 沖縄から得られた本属の1未記載種について, 日本動物分類学会第55回大会
33. 岨康輝, 本郷宙軌, 田中健太郎, 藤井琢磨, 坂井三郎, 山口耕生, Sea surface salinity of the Kuroshio Current along

- the Nansei Islands in mid-Holocene inferred from fossil corals. 日本地球惑星科学連合 2019 年大会
34. 藤井琢磨. 分類の基本的な話 (学名、命名者など). 日本サンゴ礁学会第 20 回大会自由集会①「サンゴの分類を学ぶ」
  35. 藤井琢磨, 興克樹, 駒越太郎, 山崎敦子, 渡邊剛. 喜界島ハワイ礁池および奄美大島大浜礁池における過去 4 年度分の教育活動に伴うサンゴ被度調査の成果と傾向. 日本サンゴ礁学会第 22 回大会
  36. 柳 研介, James Davis Reimer, 磯村尚子, 藤井琢磨. クマノミ類の宿主イソギンチャク類の分類の現状と展望. 日本動物分類学会第 55 回大会
  37. 和田英敏, 伊東正英, 本村浩之. 日本初記録種のアジ科魚類 *Trachinotus anak* および近年鹿児島県本土近海から確認された南方系魚類成魚の偶来記録の総括. 日本動物分類学会第 55 回大会
  38. Takamiya H, Toizumi T and Kurozumi T. Coastal Resource Use during the Prehistoric Times in the Amami and Okinawa Archipelagos, Japan (招待講演). Society for American Archaeology, 84th Annual Meeting
  39. Yamagiwa K, Takamiya H. Transition from Hunting-Gathering to Agriculture in Amami and Okinawa Archipelagos, Japan (招待講演). Society for American Archaeology, 84th Annual Meeting
  40. 高宮広土. 奇跡の島々 先史時代の奄美群島. 国際島嶼教育研究センター奄美分室見学会・移転記念式・講演会
  41. 高宮広土. 貝塚時代前期を中心とした植物遺体研究の新視点 (招待講演). 2019 (平成 31) 年度沖縄考古学会総会並びに研究発表会
  42. 高宮広土. 植物遺体からみた『海上の道』仮説の検証. 沖縄文化協会 2019 年度 第 4 回東京公開研究発表会
  43. 高宮広土. 海上の道仮説再考. 2019 年度 日本島嶼学会都大会
  44. 高宮広土. The Pleistocene Human (Homo sapiens) colonization to the Islands of the Ryukyu archipelagos, Japan. 第 7 回東アジア島嶼海洋文化フォーラム
  45. 高宮広土. 奄美・沖縄諸島における農耕のはじまり. 第 11 回奄美考古学会・第 13 回九州古代種子研究会合同研究会
  46. 高宮広土・新里貴之・黒住耐二・樋泉岳二. 奄美大島龍郷町半川遺跡第 3 次調査 (試掘調査). 令和元年度鹿児島県考古学会総会・研究発表会
  47. 宋多情. 日本の地域活性化政策と生態観光—日本奄美群島の事例を中心に. 2019 年韓国文化人類学会秋季學術大会
  48. 宋多情. The meaning of world heritage as the eyes of local: focusing on ecotourism guides and local residents in Amami Oshima, Japan. 第 7 回東アジア島嶼海洋文化フォーラム

## 5-4.新聞掲載記事一覧

平成 28(2016)年度～令和 1(2019)年度に、各年 48、37、47、23(12 月まで)件の新聞記事が掲載された。次に各記事の発行年、新聞社、掲載タイトルを「島嶼研分室だより」から再録して示す。

<http://cpi.kagoshima-u.ac.jp/publications/publications-j.html#Toshokenbunshitsudayori>

### 2016 年度

2016/5/9	南海日日新聞 p5	生物多様性連載を終えて 自然遺産 世界への責任
2016/5/13	奄美新聞 p1	奄美を多面的研究 鹿大教授ら執筆『鹿児島島の島々』発行
2016/5/21	奄美新聞 p8	新たな共生関係確認 鹿大島嶼研奄美分室加計呂麻沿岸浅海で
2016/5/21	南海日日新聞 p8	サンゴとヤドカリ共生 瀬戸内町の浅海で初確認
2016/5/25	南日本新聞 p15	サンゴとヤドカリ同居 鹿大島嶼研・藤井氏が学術誌発表
2016/6/5	南海日日新聞 p8	奄美初の分布記録 鹿大など合同研究チームが論文
2016/6/5	奄美新聞 p8	コモチハナガササンゴ 奄美群島の海域で初記録
2016/7/2	南日本新聞 p13	『奄美研究本』刊行相次ぐ 生物多様性切り口に
2016/8/6	南海日日新聞 p1	気候変動との関わりなど報告 サンゴ礁研究の重要性確認
2016/8/8	南海日日新聞 p1	固有種減少で警鐘も 観光利用ルールづくりを
2016/8/21	南海日日新聞 p10	干潟の生き物を観察 子ども博物学士講座
2016/9/18	奄美新聞 p10	身近な海の生態学 大浜海浜公園でサンゴ礁の生き物観察会
2016/9/18	南海日日新聞 p8	海の豊かさ再確認 親子連れ、大浜で生物観察会
2016/9/29	奄美新聞 p9	人による環境への影響見えず 狩猟採集、自然と調和か
2016/9/29	南海日日新聞 p8	世界的学会で研究報告 先史時代の奄美、海外も注目
2016/10/12	奄美新聞 p8	希少種『エンマノホネガイ』 国内水族館では初展示
2016/10/28	奄美新聞 p1	ノネコ山中で繁殖か 親子、エサ運ぶ姿映像に
2016/10/30	南海日日新聞 p9	山中でノネコ繁殖か 鹿大島嶼研が親子を撮影
2016/11/6	沖縄タイムス p26	奄美大島に熱帯地域の貝 二十数年ぶりに発見
2016/11/10	奄美新聞 p9	先史時代の奄美・沖縄 農耕生活との比較紹介も
2016/11/10	西日本新聞 p22	閻魔大王にちなむ貝発見 奄美大島
2016/11/10	南日本新聞 p16	瀬戸内の海に珍貝 奄美海洋展示館で展示

2016/11/16	南日本新聞 p23	鹿大・河合教授に社会連携賞 奄美研究成果を地元還元
2016/12/1	奄美新聞 p1	地域研究コンソーシアム賞受賞 地域一体活動、知識還元評価
2016/12/1	南海日日新聞 p9	奄美での活動を評価 『社会連携賞』を受賞
2016/12/5	琉球新報 p26	サンゴ、浅海も対象に 遺産登録向け議論
2016/12/5	南海日日新聞 p9	陸域、海域連動を確認 サンゴ保全で公開シンポ
2016/12/20	南日本新聞 p14	地域研究コンソーシアム社会連携賞 受賞報告
2016/12/25	奄美新聞 p9	鹿大制作の植物図鑑活用 名前の調べ方学ぶ
2016/12/25	南海日日新聞 p9	初冬の樹木の特徴学ぶ デジタル図鑑参考に
2017/1/1	奄美新聞 p27	山中で繁殖推察の映像撮影 希少種や固有種捕食裏づけ
2017/1/1	奄美新聞 p40	奄美（沖縄）諸島のたから 貝塚時代にもあった環境文化型
2017/1/16	南海日日新聞 p8	『奄美遺産』継承が課題 加計呂麻島で公開セミナー
2017/1/14	奄美新聞 p1	奄美・沖縄諸島先史学の最前線 シンポジウムによせて
2017/1/17	南海日日新聞 p8	奄美・沖縄諸島先史学の最前線 開催によせて
2017/1/23	奄美新聞 p9	南西諸島の遺伝的な連続性確認 奄美・沖縄諸島先史学の最前線
2017/1/23	南海日日新聞 p9	先史時代の謎に迫る 奄美市でシンポジウム
2017/1/24	奄美新聞 p8	奄美独自の歴史解明期待 DNA 用いた遺伝子研究
2017/2/3	琉球新報 p23	世界の中の琉球列島 先史時代、日本に3文化
2017/3/5	奄美新聞 p1	外来種問題の住民啓発を モニタリング、抑制策実施へ
2017/3/6	南海日日新聞 p1	生態系への影響深刻 外来種テーマにシンポ
2017/3/10	南海日日新聞 p9	笠利の海岸に死骸漂着 小型クジラ・カズハゴンドウ
2017/3/22	奄美新聞 p1	サンゴ礁のいきもの観察 パンフ作成、無料配布
2017/3/23	南海日日新聞 p12	サンゴのいきもの観察 パンフレット配布開始
2017/3/24	奄美新聞 p8	海洋生物レッドリスト公表 奄美大島周辺海域生息種もリストアップ
2017/3/26	奄美新聞 p1	クロウサギ幼獣襲われる瞬間撮影 ノネコ問題の深刻さ知って
2017/3/26	南海日日新聞 p1	クロウサギ幼獣が食害 巣立ち直前、ノネコか
2017/3/26	南海日日新聞 p8	海洋生物レッドリスト作成 奄美周辺生息4生物など指定

## 2017 年度

2017/4/8	奄美新聞 p1	琉球列島で最古の植物遺体 旧石器時代に採集生活か
2017/4/8	南日本新聞 p28	奄美沖縄最古ドングリ 1万1000年前と確認
2017/4/9	南海日日新聞 p1	1万2000年前に採集生活か 琉球列島最古のシイの実出土
2017/4/23	南日本新聞 p26	鹿児島離島生物多様性を学ぶ 鹿大で研究発表会
2017/5/23	奄美新聞 p9	奄美・沖縄の貝塚時代 放送大学公開講座で高宮教授
2017/5/24	南海日日新聞 p8	社会組織の変遷考察 奄美・沖縄諸島の貝塚時代
2017/6/18	奄美新聞 p9	国立公園での森林管理報告 奄美で初の日本熱帯生態学会
2017/3/5	奄美新聞 p1	外来種問題の住民啓発を モニタリング、抑制策実施へ
2017/6/19	南海日日新聞 p9	考古学から琉球列島ひも解く 各分野の専門家4人が発表
2017/6/20	奄美新聞 p9	サンゴ資源長い年月かけ有効活用手立て 奄美・沖縄のヒトと自然の歴史
2017/7/12	奄美新聞 p11	現存の維持が最良 鹿大島嶼研・研究会奄美分室でもネット受講
2017/7/24	奄美新聞 p9	人と自然の関わり学ぶ 鹿大島嶼研 高中生に講義や実験
2017/8/2	南海日日新聞 p8	野外活動交えサンゴ学ぶ 島内外から小中学生21人
2017/8/11	南海日日新聞 p10	珍しい生物写真一堂に 大島海峡いきもの展開幕
2017/8/12	奄美新聞 p8	大島海峡の新種展示 いきもの新発見写真展
2017/8/7	南日本新聞 p13	奄美を歩く3 サンゴ礁 生き物の楽園
2017/8/24	南海日日新聞 p8	貴重な環境が身近に ゴカイ観察で生態系学ぶ
2017/8/28	奄美新聞 p1	名前記入で電子図鑑活用 植物観察会&奄美塾
2017/8/28	南海日日新聞 p8	親子で海岸の植物観察 デジタル図鑑参考に
2017/8/29	南海日日新聞 p9	継続的研究が重要 こども環境調査隊 奄美の課題解決へ学習
2017/9/14	南海日日新聞 p8	クロウサギ守ろう 鈴木さん、生物テーマに講義
2017/9/24	南海日日新聞 p8	珍種貝の産卵確認 生態系解明に期待
2017/10/2	奄美新聞 p1	価値あるものを知って 林道観察、専門家講演で自然学ぶ
2017/10/10	奄美新聞 p9	水温や地形の関係で豊富 クラゲ、サンゴ生態
2017/10/25	奄美新聞 p9	食器製作カムイヤギ影響か 新里学芸員大学生らに講演
2017/11/5	奄美新聞 p1	研究活動など情報発信 島嶼研分室だより No.5 作成
2018/1/5	沖縄タイムス p27	新種2種を発見 琉大・鹿島大チーム
2018/1/21	奄美新聞 p9	世界遺産匹敵する先史文化 先史時代の奄美・沖縄考察
2018/1/21	南海日日新聞 p9	奄美・沖縄は奇跡の島 先史時代の特殊性強調
2018/2/3	奄美新聞 p1	タンカンにクロウサギ被害 映像記録、実態調査を検討
2018/2/3	南海日日新聞 p1	タンカンにクロウサギ食害 果樹の表皮や葉、食い荒らす
2018/3/4	奄美新聞 p9	鹿大プロジェクト生物多様性シンポ 植物や森林生態系学ぶ
2018/3/4	奄美新聞 p9	SFTS ウイルス見つからず 島嶼研勉強会奄美のマダニも研究
2018/3/10	奄美新聞 p8	希少サンゴの北限記録発表 豊かな海洋生物多様性示す
2018/3/10	南海日日新聞 p1	希少サンゴの群集見つかると 分布の最北限記録に



- 2018/3/26 南海日日新聞 p19 奄美を歩く 9 島のシンボル クロウサギ数奇な運命  
2018/3/31 奄美新聞 p8 ゴカイ、身近に感じて パンプ無料配布開始

## 2018 年度

- 2018/4/1 南海日日新聞 p8 奄美・沖縄諸島先史学の最前線発行 出土品から見る奄美の環境と人の暮らし  
2018/4/1 奄美新聞 p9 希少サンゴの群集見つかる 大島海峡分布の最北限記録に  
2018/4/2 奄美新聞 p1 歴史に学ぶ『環境文化型』狩猟採集自然との調和で 5 専念も続く  
2018/4/3 奄美新聞 p1 最新の研究成果など紹介 『奄美・沖縄諸島先史学の最前線』刊行  
2018/4/6 南日本新聞 p15 奄美の先史探る 狩猟・採集生活最新研究を解説  
2018/4/13 南海日日新聞 p9 吸血害虫ヌカカ被害相次ぐ 奄美大島、加計呂麻島など  
2018/4/13 南海日日新聞 p8 奄美の植物相知る一冊 『奄美群島の野生植物と栽培植物』  
2018/4/25 奄美新聞 p9 河内川での個体数減危惧 鹿大島嶼研・研究会  
リュウキュウアユ生態や保護取り組みなど講演  
2018/4/27 奄美新聞 p1 瀬戸内町内の海に“珍客” 『リュウグウのツカイ』稚魚  
2018/5/3 奄美新聞 p8 植物の研究成果紹介 『奄美群島の野生植物と栽培植物』  
2018/5/9 奄美新聞 p1 修正し再提出すべき 環境省、関係機関と協議へ 県事業の一部に影響も  
2018/5/10 南海日日新聞 p1 新種『ニゲミズチンアナゴ』 大島海峡で発見、研究者ら発表  
2018/5/10 南海日日新聞 p7 書評 奄美・沖縄諸島 先史学の最前線  
2018/5/10 南日本新聞 p24 奄美にチンアナゴ新種 大島海峡で捕獲  
2018/5/11 奄美新聞 p1 新種のチンアナゴ発見 大島海峡『環境が豊かで多様性高い』  
2018/5/15 奄美新聞 p3 学際的研究の成果を収録 論文集『奄美・沖縄諸島先史学の最前線』  
2018/5/20 奄美新聞 p1 多様な植物、見て触れて学ぶ 鹿大奄美文頭の植物教室スタート  
2018/5/20 南海日日新聞 p8 『奄美群島の植物教室』始まる 鹿児島大学主催  
2018/5/25 南海日日新聞 p4 文芸散歩 研究者の調査結果に心躍る場面も『奄美・沖縄諸島先史学の最前線』  
2018/5/27 奄美新聞 p9 奄美の動植物も発表 薩南諸島の生物多様性研究成果  
2018/6/22 南海日日新聞 p4 文芸散歩 古代奄美の人と植物との関わりを知る  
『奄美群島の野生植物と栽培植物』  
2018/6/2 沖縄タイムス p19 古き島の暮らしひもとく 奄美・沖縄諸島先史学の最前線  
2018/8/23 奄美新聞 p1 鹿大島嶼研分室を移転 9 月一般会計 5 億 3758 万円追加  
2018/8/23 南海日日新聞 p1 鹿大拠点施設を整備 奄美市市議会に議案送付  
2018/10/11 南海日日新聞 p8 純美人の英大生が研究発表 織物の染色技術テーマに  
2018/10/18 奄美新聞 p9 戦争遺跡の活用発表 韓国での国際学術大会瀬戸内町からも参加  
2018/10/18 奄美新聞 p8 ひとつなぎの自然大事 鹿大島嶼研・藤井特任教授が講演  
2018/10/22 南海日日新聞 p9 世界へ発信できる 戦跡の調査・活用を報告  
2018/10/21 南日本新聞 p18 奄美の海の多様性語る 大島高で藤井助教  
2018/11/6 奄美新聞 p9 半川遺跡の学術調査スタート 鹿大島嶼研分室・龍郷町で  
2018/11/13 奄美新聞 p9 堅果類伴う土坑や石器出土 半川遺跡の学術調査終盤  
2018/11/15 南海日日新聞 p9 縄文時代の集落遺構あり 洗骨の始まり示す遺構も  
2018/11/16 南海日日新聞 p9 島の職場を体験しよう おしごとテーマパーク  
2018/11/27 奄美新聞 p9 早期の普及啓発活動評価 奄美海洋生物研究会  
日本サンゴ礁学会保全奨励賞を受賞  
2018/12/25 奄美新聞 p1 回顧 2018 自然・文化 世界自然遺産登録再推薦へ  
2019/1/1 奄美新聞 p21-22 鹿大島嶼研奄美分室・学術調査 龍郷町半川遺跡再調査が実現  
2019/1/25 奄美新聞 p9 与論独自の土器群報告 城跡、調査・研究の課題も  
2019/2/3 南海日日新聞 p10 資源と文化結び付けて 鹿大教授ら“群島の価値”に提言  
2019/2/3 奄美新聞 p9 奄美の産業 研究者が現状・未来分析 『有望種も』『販売・生産性向上』  
『海外開拓を』  
2019/2/17 奄美新聞 p9 多種多様な生態系の保全重要 水生生物の研究成果報告 鹿大シンポ  
2019/2/17 南海日日新聞 p9 知識深め正しい保全を 奄美市で生物多様性シンポ  
2019/3/6 奄美新聞 P9 ハブの毒成分に違い 東大医科学研・服部さん講演  
2019/3/11 奄美新聞 P9 環境キーワードに 3 氏講演 奄美の海岸の『オリジナリティ大事に』  
農耕で島の破壊も発生  
2019/3/14 南海日日新聞 P9 護岸堤建設の危険性を指摘 山川准教授が奄美の砂浜を分析  
2019/3/22 奄美新聞 P9 『交流、航海技術示すデータ』 隆帯文土器発掘の意義語る  
2019/3/29 南海日日新聞 P8 希少なベンケイガニ発見 分布の北限記録に  
2019/3/30 奄美新聞 P8 徳之島で初記録、北限更新 希少種ドウクツベンケイガニ  
藤井特任助教が共同研究

## 2019 年度

- 2019/4/14 奄美新聞 P9 希少種密猟・盗採監視に ドローン活用質疑も 第 1 回鹿大・島めぐり講演会  
2019/4/14 南海日日新聞 P1 研究成果を地域還元 鹿大が島めぐり講演会  
2019/4/16 奄美新聞 P8 「ダイバーやガイドも必見！」 鹿大生物多様性研編集  
『奄美群島の水生生物』刊行

- 2019/4/16 南海日日新聞 P9 スカカに注意を 加計呂麻島などで被害増  
 2019/4/19 奄美新聞 P9 新環境「多くの利用して」 島嶼研奄美分室、港町に移転  
     研究者使える器機増設  
 2019/4/19 南海日日新聞 P9 島嶼研奄美分室、紬会館に移転 6月上旬に開所セレモニー開催予定  
 2019/4/28 南海日日新聞 P9 沖永良部のサンゴ礁解説 和泊町で島めぐり講演会  
 2019/5/2 奄美新聞 P1 科学的視点からの対策を 食害と農業  
 2019/5/15 南海日日新聞 P9 地震のメカニズムも解説 喜界で島めぐり講演会  
 2019/5/26 奄美新聞 P9 在来果樹「先人からの文化」 鹿大・龍郷町で島めぐり講演会  
     機能性成分の活用を提言  
 2019/6/2 奄美新聞 P9 教育・地域研究の中核拠点に 鹿大島嶼研・奄美分室移転記念式典  
     見学会や講演、活動報告も  
 2019/6/2 南海日日新聞 P8 佐野学長「グローバルな研究を」 奄美分室移転記念式・講演会開催  
     高宮教授は奄美・沖縄の特殊性語る  
 2019/6/7 南海日日新聞 P4 国の形、島々からの視座 「日本ネシア論」刊行に寄せて  
 2019/7/9 奄美新聞 P9 DNA 調査で相違点 奄美大島と喜界島で確認 鹿大島嶼研・研究報告会  
 2019/7/17 南海日日新聞 P3 奄美大島で事前学習 古里の自然環境学ぶ  
 2019/9/15 南海日日新聞 P10 奄美の海「多様な環境が魅力」 鹿大の藤井さん講話  
 2019/9/19 奄美新聞 P9 奄美の野鳥の魅力紹介 野鳥の会・鳥飼さん外来種対策など提言も  
     鹿大島嶼研・勉強会  
 2019/10/3 奄美新聞 P9 多様な生態環境に適応 琉球諸島のサワガニ類など解説 鹿大島嶼研・研究会  
 2019/10/13 奄美新聞 P9 鹿大島嶼研シンポ、初の出張開催 3分野講演「喜界の未来考える」  
 2019/10/13 南海日日新聞 P9 新技術で未来考える 鹿大島嶼研がシンポ開催  
 2019/10/27 奄美新聞 P9 生物多様性の価値知ろう 野外観察・勉強会に20人  
     鹿大「奄美群島の植物教室 in 徳之島」  
 2019/10/28 奄美新聞 P9 「狩猟採集漁労民がいた島」 陶磁器流通の様相も解説  
 2019/11/17 南海日日新聞 P9 持続可能な観光とは オーバーユースの問題点指摘